

37. キャッチアップ catch-up

「外来語」言い換え提案 (第2回)

全体 ☆☆☆☆ 60歳以上 ☆☆☆☆

キャッチアップ

言い換え語 追い上げ

用例 官僚主導で欧米先進経済への追い上げのキャッチアップを追求してきた日本は

意味説明
優位なものに対して、追い上げ、追い付くこと

手引き

- ・ 追い上げること、追い付くことのどちらに重点があるかによって、「追い上げ」「追い付くこと」などを使い分けるのが望ましい。
- ・ 動詞として用いられる場合は、「追い上げる」「追い付く」などと言い換えられる。

その他の言い換え語例 追い付くこと

【調査データ】

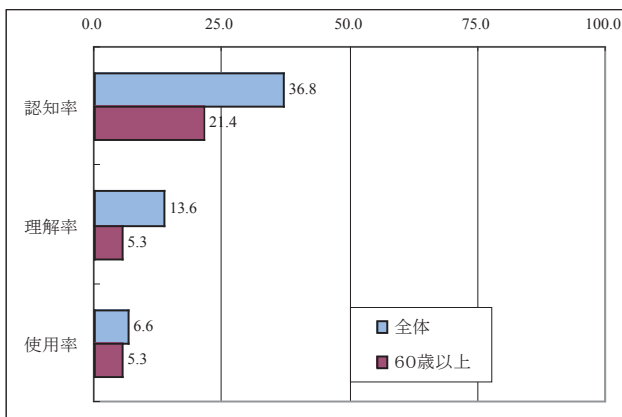


図1 定着度 (全体・60歳以上) %

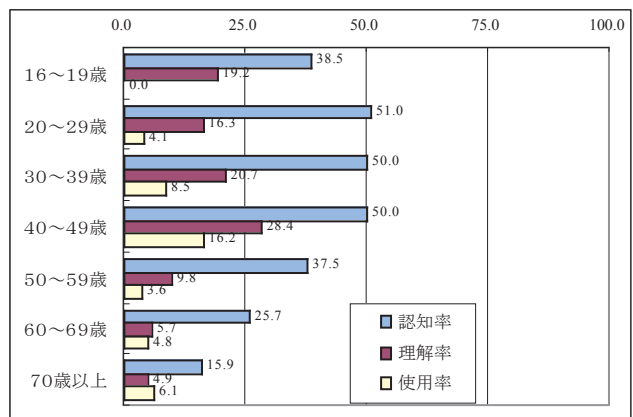


図2 定着度 (年齢層別) %

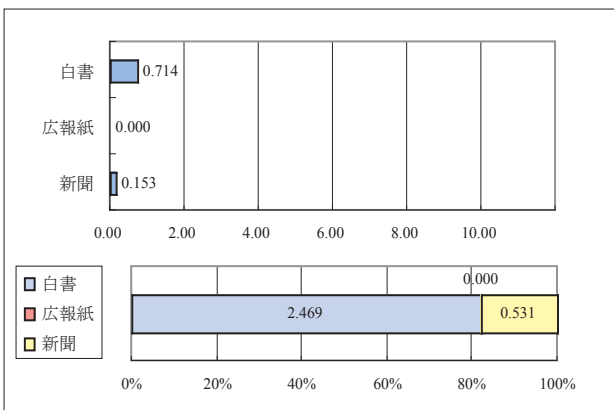


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

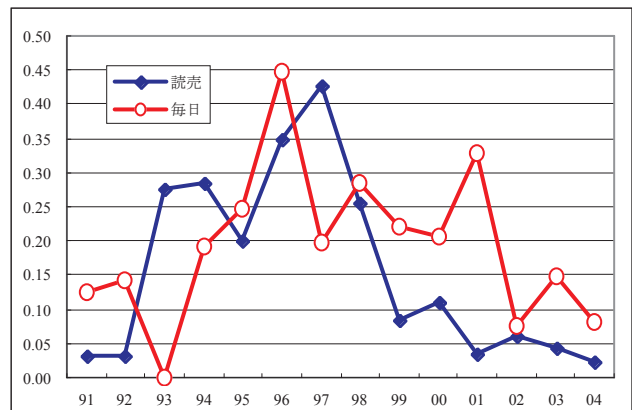


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。認知率と理解率の乖離がかなり大きい。理解率と使用率の乖離は大きい。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移によると、1996~1997年頃まで増加し、その後は減少の方向にある。

【言い換えの論点】

○名詞用法と動詞用法がある。動詞用法の場合は、「追いつける」「追いつく」と言い換えることで問題ない。名詞用法の場合、「追いつけ」はよいが、「追いつき」は不自然な語形であるため、「追いつくこと」を言い換え語とした。

38. キャピタルゲイン capital gain

「外来語」言い換え提案（第1回）

キャピタルゲイン	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	資産益	
用例	投資先企業の成長と早期の株式公開を後押しし、 <u>資産益</u> の獲得を狙う。	
意味説明	資産の売却や値上がりによる収益	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の専門用語であり、資産を保有していることで得られる配当金や利息と区別して言われる。概念を端的に言い換えることは難しく、一般向けに概念を正確に伝える場合は、説明を付与して用いる必要がある。 ・売却による利益か値上がりによる利益かの区別ができる場合は、「資産売却益」「資産値上がり益」を使い分けることも考えられる。 ・株式の譲渡や値上がりによる場合は、「株式譲渡益」「株式値上がり益」などと、内容を具体的に表して、言い換えたり説明を付与したりすることもできる。 	
その他の言い換え語例	資産収益 資産売却益 資産値上がり益	

【調査データ】

- 定着度は低い。認知率と理解率の乖離は大きい。理解率と使用率の乖離も大きい。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度推移は、減少傾向にある。

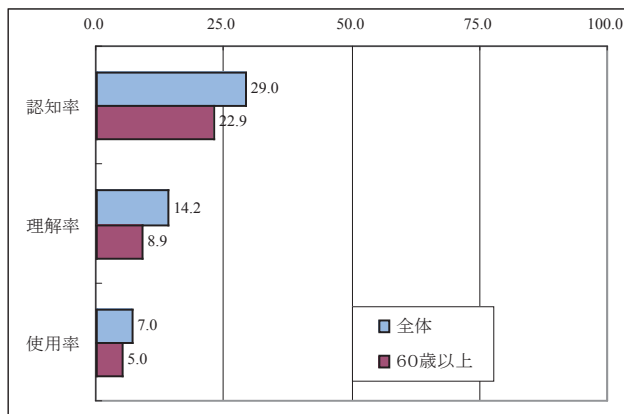


図1 定着度（全体・60歳以上）%

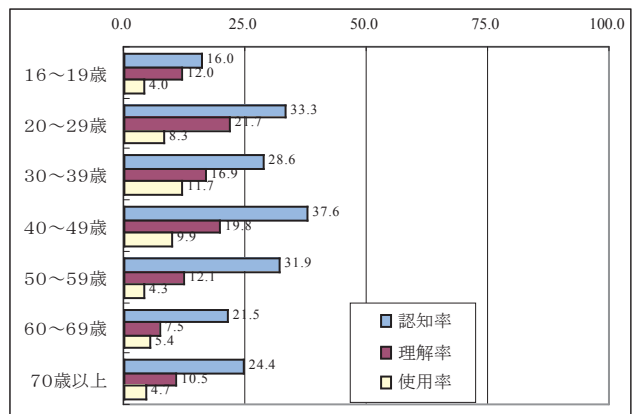


図2 定着度（年齢層別）%

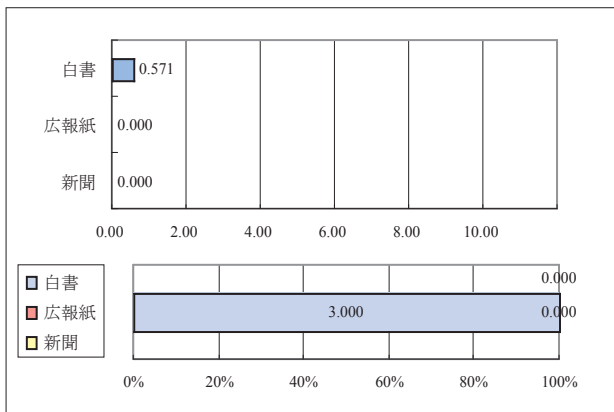


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

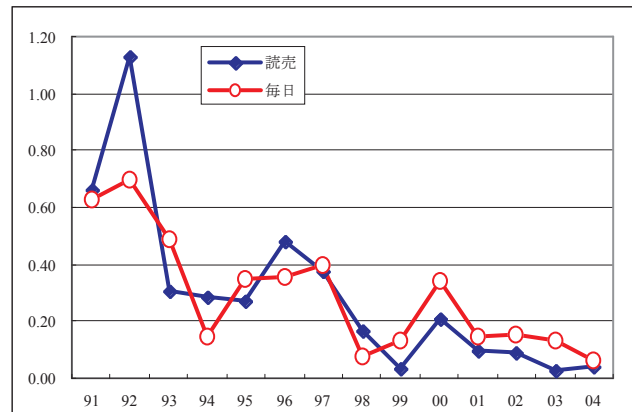


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【言い換えの論点】

- 専門性の高い語であるので、大体の意味が伝わればよいときには、分かりやすい言い換え語「資産益」でよい。しかし、厳密な意味を伝えたい場合は、説明的な言い換え語や、説明付与などの工夫が有効だと考えられる。この点を「手引き」で述べた。

39. クライアント client

「外来語」言い換え提案(第4回)

クライアント	全体 ★★☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	顧客	
用例	より高い見解・見識を示さないと <u>顧客</u> から信頼と敬意を得られない状況になっている。	
意味説明	注文や問題の解決のために、専門家や専門機関に依頼する人や組織	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 様々な業種において用いられているが、注文や求める内容に応じて、その他の言い換え語例に掲げる言い換え語を使い分けることも、効果的である。 ネットワークでつながったコンピューターで、情報の提供を受ける側のコンピューターを指して「クライアント」ということがあるが、この場合は「端末」「端末機」「利用側のコンピューター」などと言い換えたり説明を付けたりすることができる。 医療の分野では「クライアント」の語形が用いられることもあるが、意味は同じである。 	
その他の言い換え語例	客 注文主 依頼主 相談者 利用者 患者	

【調査データ】

- 定着度は中程度だがどちらかといえば低い。30歳代が高く、60歳代が低い。
 ○公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度がやや高い。
 ○新聞の頻度推移によると、1998年頃まで増加し、その後は減少の方向にある。

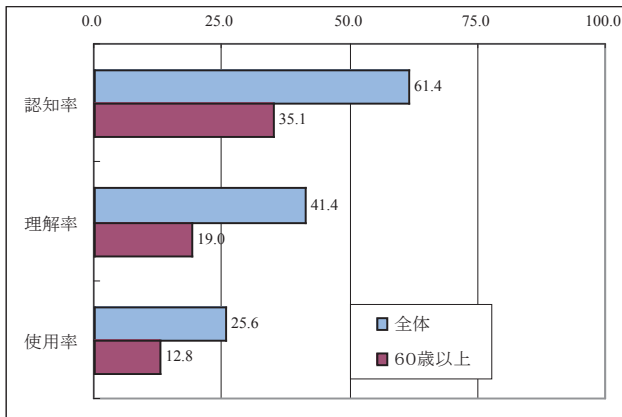


図1 定着度（全体・60歳以上）%

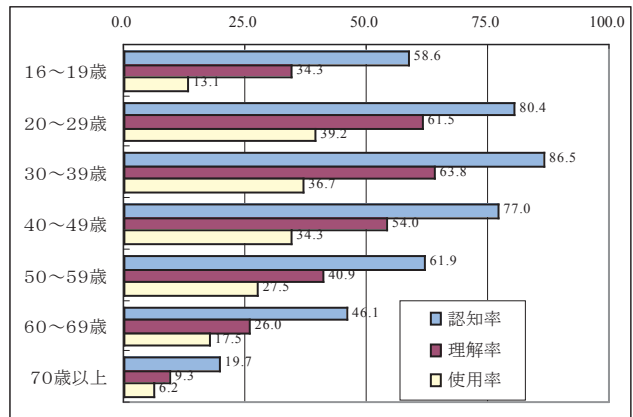


図2 定着度（年齢層別）%

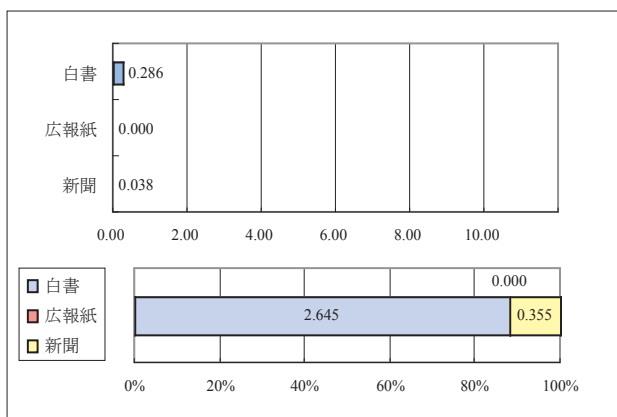


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

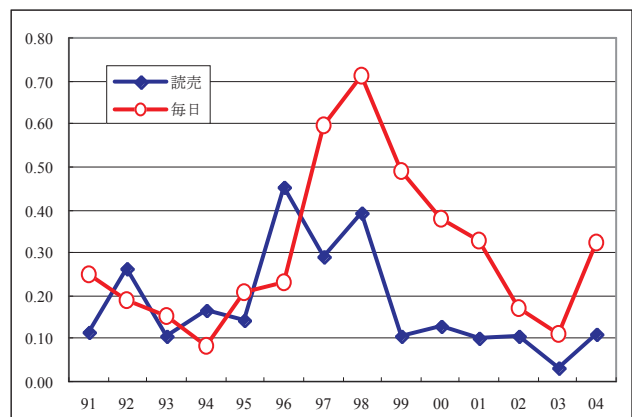


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【背景事情】

○1990年代後半に多いのは、インターネットの普及など、情報通信技術の革新が話題になることが多く、コンピューター用語としての「クライアント」の使用例が、新聞にも多く現れるようになったものである。2000年頃になると、人や組織を意味する例が中心になり、頻度も減少する。

【言い換えの論点】

- 「顧客」という言い換え語は、類義語「カスタマー」にあたり、「クライアント」の言い換え語は「依頼人」などの方が適切ではないかという意見があった。確かに、英語における原義を考慮すると、customerは「顧客」、clientは「依頼人」という訳語のあて方が分かりやすい。しかし、外来語としての使用実態を見ると、こうした訳語をそのまま言い換え語とするのは、分かりにくい。
- 公共媒体では、「カスタマー」は、「カスタマーセンター」「カスタマーサービス」などの複合語の一部として使われる場合はあるが、単独ではあまり使われない。一方、「クライアント」は、さまざまな業界における、客、顧客を指して、単独でも使われる。客、顧客を表す外来語としては、「クライアント」が一般的である。
- 上記のような日本語における外来語の現状を踏まえると、よく使われる「クライアント」の言い換え語には、それにあたるもっとも一般的な日本語「顧客」あるいは「客」をあてるのが、分かりやすいと考えた。

40. グランドデザイン grand design

「外来語」言い換え提案（第2回）

全体 ☆☆☆☆ 60歳以上 ☆☆☆☆

グランドデザイン

言い換え語 全体構想

用例 日本型福祉社会における社会保障のあり方について、グランドデザインを描ききれない。

意味説明
全体を長期的、総合的に見わたした構想

手引き
・類義の語に「マスタープラン」[⇒141]があるが、全体的、基本的な計画を意味し、「基本計画」と言い換えることができる。

【調査データ】

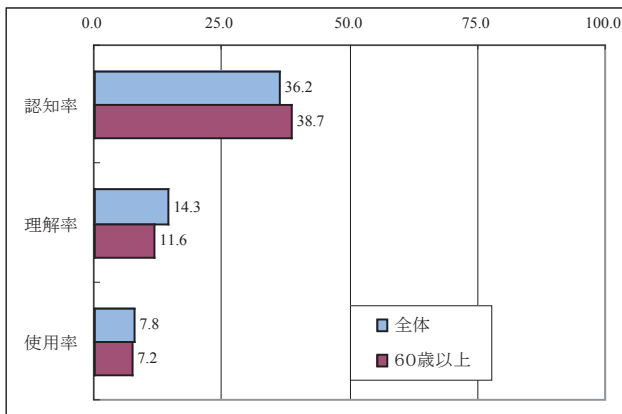


図1 定着度（全体・60歳以上）%

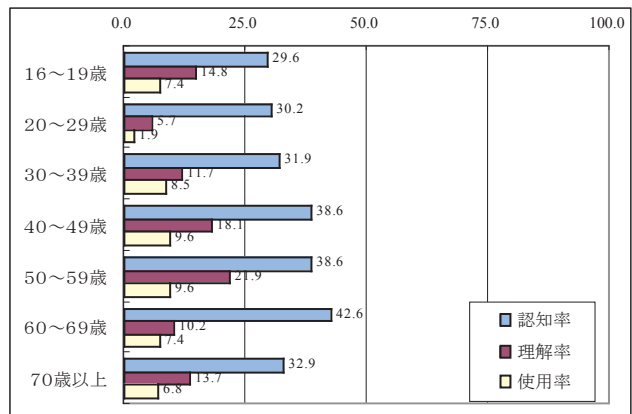


図2 定着度（年齢層別）%

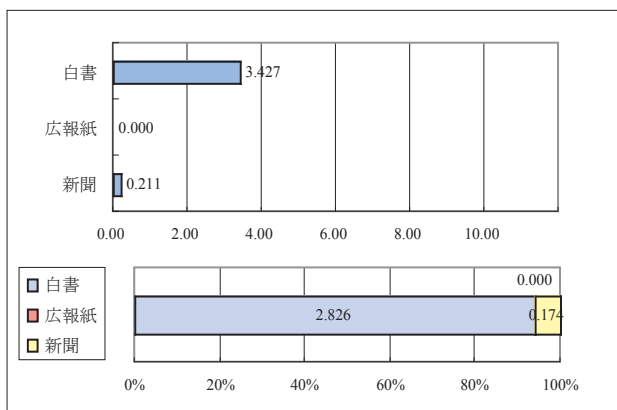


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

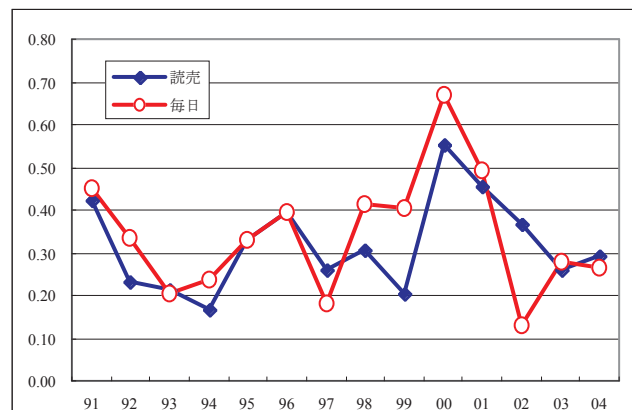


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度は低い。認知率と理解率との乖離がかなり大きい。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度推移によれば、2000年頃まで増加し、その後は減少している。

【背景事情】

○新聞で2000年前後に多いのは、政府や自治体の施策名の中に使われる例が多いことによる。その後は、施策名に使われる例は減少している。

【言い換えの論点】

○直訳して「大構想」「大計画」「大規模計画」などを言い換え語とする案もあった。しかし、「大」は陳腐な印象を与えてしまうので、より実質を表している「全体」を冠した言い換え語が適切だと考えた。普通によく使われる「基本計画」などで十分という意見もあった。

→参照 アクションプログラム, アジェンダ, スキーム, マスタープラン

41. グローバリゼーション globalization

「外来語」言い換え提案（第2回）

	全体	60歳以上
グローバリゼーション	☆☆☆☆	☆☆☆☆
言い換え語	地球規模化	
用例	地球規模化 地球規模化 グローバリゼーションと反グローバリゼーションという世界的問題も実は米国基準の国際化問題と重複している部分が多い。	
意味説明	ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大すること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 地球全体の規模に拡大することを意味する「地球規模化」と言い換えるのが、分かりやすい。地球全体が一つになることに着眼して、「地球一体化」と言い換えることもできる。中国語で用いられている「全球化」も、端的で分かりやすい場合がある。 「国際化」は国家を前提としたものであるのに対し、「地球規模化」は国家を前提としておらず、国家を越えて世界を一つにするものである。 「グローバル化」「グローバルイゼーション」も「グローバリゼーション」と同じ意味である。 	
その他の言い換え語例	地球一体化 全球化	

【調査データ】

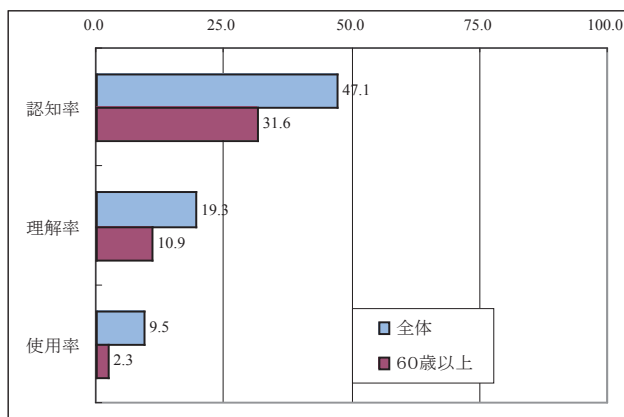


図1 定着度（全体・60歳以上）%

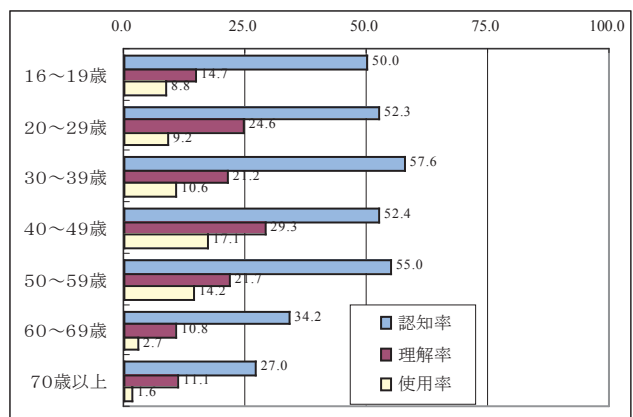


図2 定着度（年齢層別）%

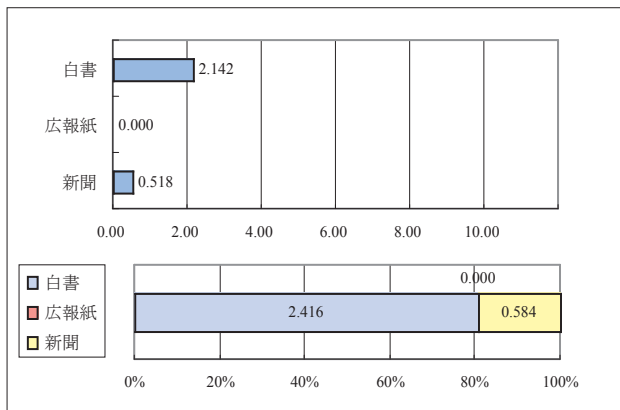


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

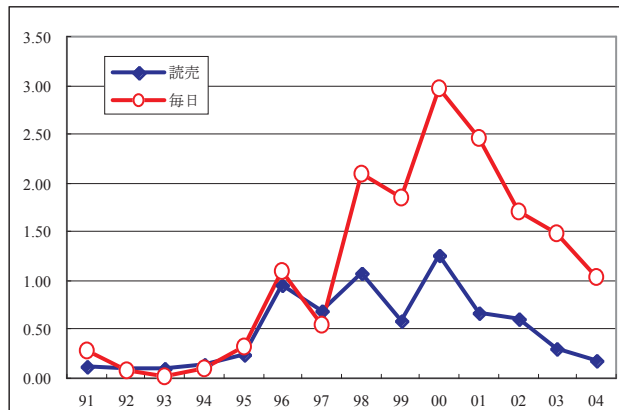


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。認知率と理解率の乖離が大きい。理解率と使用率の乖離も大きい。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、2000年頃まで増加が進み、その後は減少の方向にある。

【言い換えの論点】

- 「グローバル」の言い換え語と対応させて考えた。

→参照 グローバル

42. グローバル global

「外来語」言い換え提案 (第2回)

	全体	60歳以上
グローバル	★★☆☆	★☆☆☆
言い換え語	地球規模	
用例	湖沼会議は参加者、中でも一般の住民にとって、 <u>地球規模の</u> グローバルな環境問題についてきちんと認識できる格好の機会となる。	
意味説明	ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大している様子	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・地球全体に広がっている様子に着眼する場合は「地球規模」と言い換えられるが、地球全体が一つである様子に着眼すれば「全地球的」「全球的」とも言い換えられる。「全球的」は中国語で「グローバル」の訳語として用いられている。 ・「グローバルな」には用例に見るように「地球規模の」を当てるとよい。「グローバルに」は「地球規模で」と言い換えられる。 ・「グローバリズム」は「地球主義」と言い換えられる。 ・類義の語に「ワールドワイド」があり「世界規模」と言い換えられる。 	
その他の言い換え語例	全地球的 全球的	

複合語例	グローバル企業 = 多国籍企業 超国籍企業 超国家企業
	グローバル経済 = 地球経済 世界経済
	グローバル社会 = 地球社会 全世界
	グローバルスタンダード = 世界標準

【調査データ】

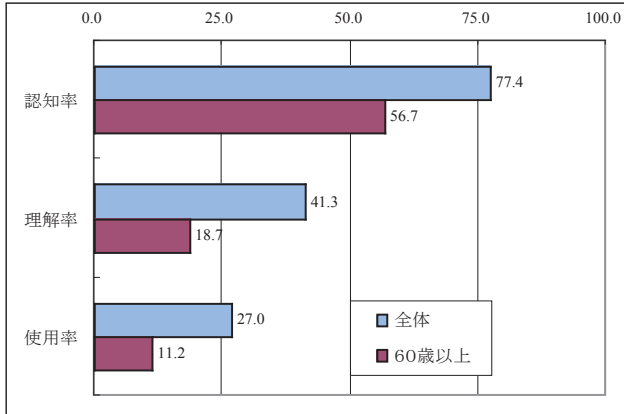


図1 定着度（全体・60歳以上）%

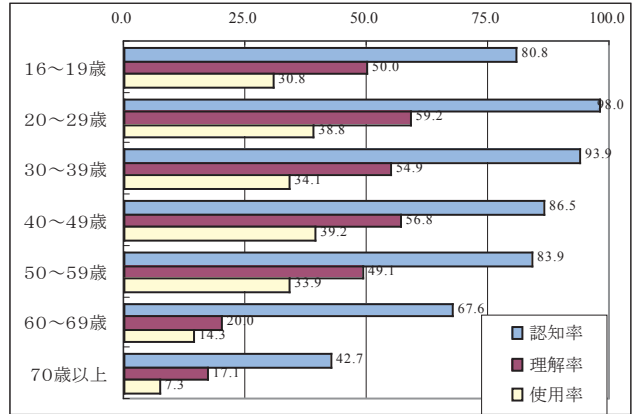


図2 定着度（年齢層別）%

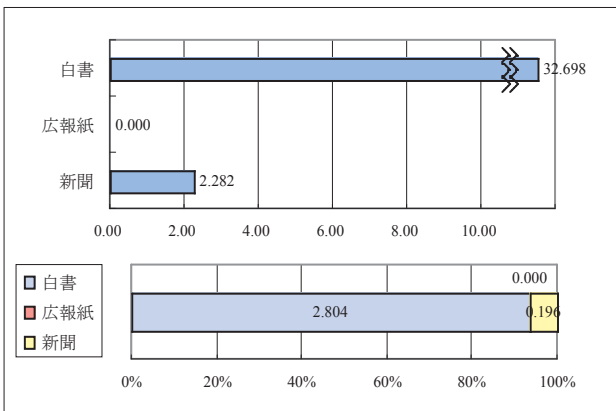


図3 公共媒体における頻度（出現率）と偏り（特化係数）

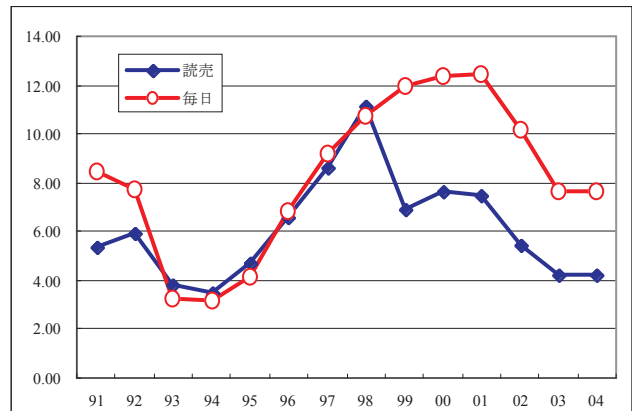


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度は中程度だがどちらかといえば低い。認知率と理解率の乖離がきわめて大きい。60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度はきわめて高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度は、2000年頃まで増加が進み、その後は減少の方向にある。増加の始まる前の1991～1992年が突出しているが、当時の日米関係で重視された「日米グローバルパートナーシップ」が繰り返し報道されたことによるものである。

【言い換えの論点】

- 「地球規模」「全球」など「地球」の意味を含む言い換え語が適切だという意見と、地学的あるいは地理的な地球ではないので、文化的経済的な意味を表せる「世界規模」「全世界的」など「世界」を含む言い換え語が適切だという意見とがあった。従来あった、「世界」(ワールド),「国際」(インターナショナル)などとは異なる意味を意識して「グローバル」を用いていると考えられるので、「地球」の意味が前面に出る言い換え語が適切だと考えた。

→参照 グローバリゼーション, ボーダーレス

43. ケア care

「外来語」言い換え提案（第1回）

全体 ★★★★★ 60歳以上 ★★★★★☆

言い換え語 手当て 介護

用例 悩みや不満を表現できない子どもに対し、ケアが必要だと考えている。
 家庭でケアできない障害児の医療には、保険は認められない。

意味説明 放っておくことができないものへの手当て

手引き

- ・かなり定着が進んでいる語で、そのまま使って大きな問題はないと思われる。ただし、60歳以上では、分かりにくいと感じる向きもあるので、読み手の中に高齢者が想定される場合や、不特定多数の人を相手にする場合は特に、言い換えや説明付与が必要になる。
- ・「ケア」の言い換え語は、最も基本的な意味を表すものとして「手当て」が有効だが、文脈により言い換え語を変える工夫も効果的である。言い換え語に示した「介護」のほか、医療の分野では「看護」、身だしなみや品物の場合には「手入れ」などが考えられる。
- ・「ケア」が使用される範囲は広く、便利な言葉ではあるが、意味が広がりすぎることで、軽くあいまいな言葉に感じられることもある。正確な伝え合いを求める場合は、特に、注意が必要である。

その他の言い換え語例 看護 手入れ

複合語例 デイケア = 日帰り療養 通所リハビリ
 メンタルヘルスケア = 心の健康づくり

【調査データ】

- 定着度は高い。
- 公共媒体における頻度は高い。
- 新聞の頻度は、2000年頃まで増加し、その後は減少に転じている。

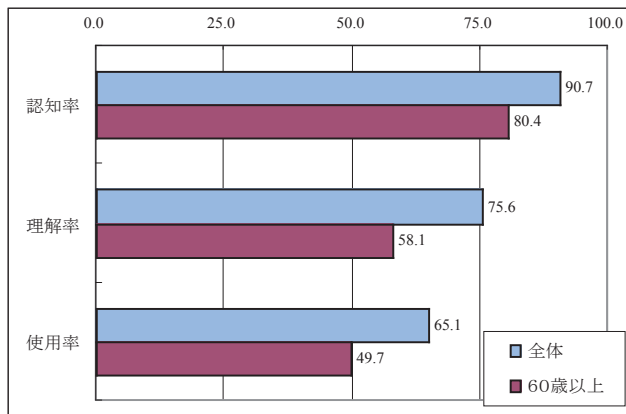


図1 定着度（全体・60歳以上）%

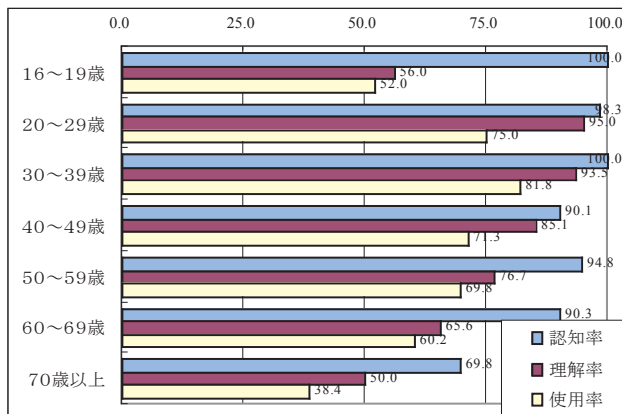


図2 定着度（年齢層別）%

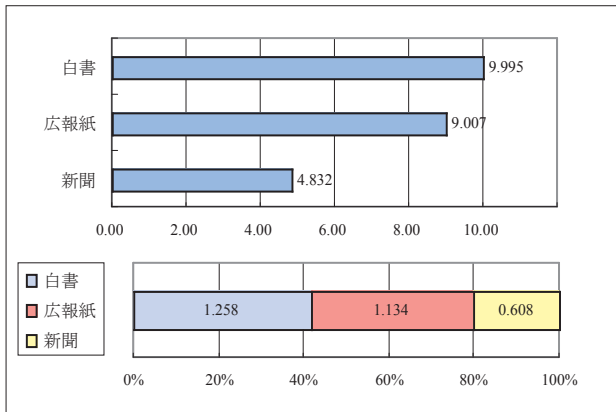


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

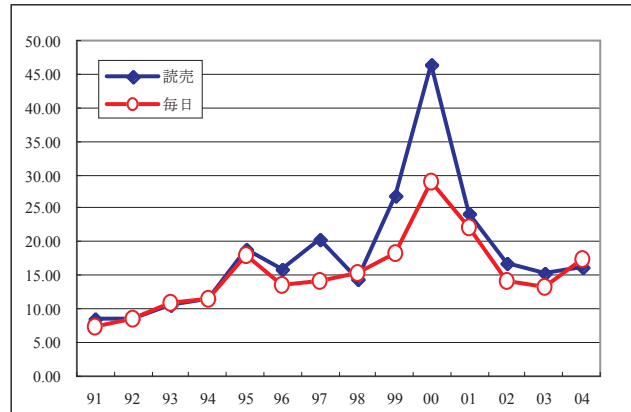


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【背景事情】

○新聞の頻度推移で、2000年が頂点となるのは、この年から実施された「介護保険制度」にかかわる報道の増減によるものである。「ケアマネージャー」「ケアプラン」など、この制度の開始によって話題になった介護用語の頻度の増減を反映している。

【言い換えの論点】

- 定着度の高い外来語であり、言い換え提案に取り上げる必要はないという意見もあったが、次の二つの理由で取り上げることにした。この点に留意すべきことを、[手引き]に記した。
- 公共媒体で用いられる「ケア」の使用例が最も多いのは、介護の分野である。介護の対象になる高齢者では、「ケア」の定着度は高くなく、言い換える必要はある。
- 「ケア」は幅広い意味で使われ便利であるが、その分、軽くあいまいな言葉に感じられている面がある。正確な伝え合いを重んじる場合などは、意味の明確な語に言い換えることが望まれる場合もある。

44. ケーススタディー case study

「外来語」言い換え提案(第2回)

ケーススタディー	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	事例研究	
用例	野党案が法制化された場合、どのような政治活動が規制されるのか、 <u>ケーススタディー</u> を試みた。	
意味説明	ある問題の具体例を詳しく分析して、一般的な真実を導き出す研究方法	
手引き	・研究や学習など、「ケーススタディー」がよく用いられる分野もあるが、一般の理解度は低く、言い換えや説明付与の必要性は高い。	

【調査データ】

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、全体として減少傾向である。

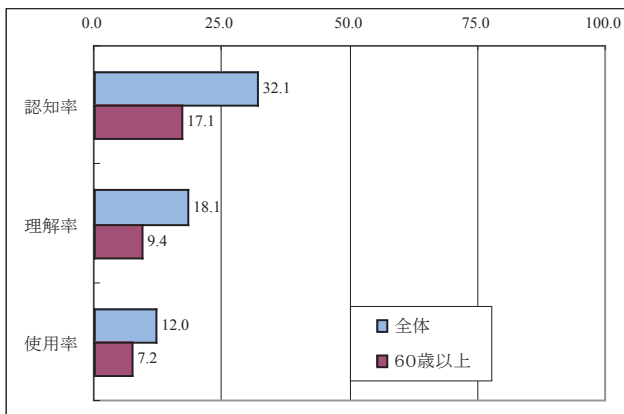


図1 定着度 (全体・60歳以上) %

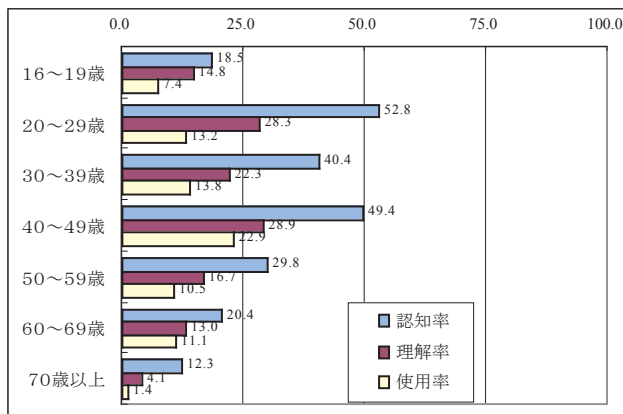


図2 定着度 (年齢層別) %

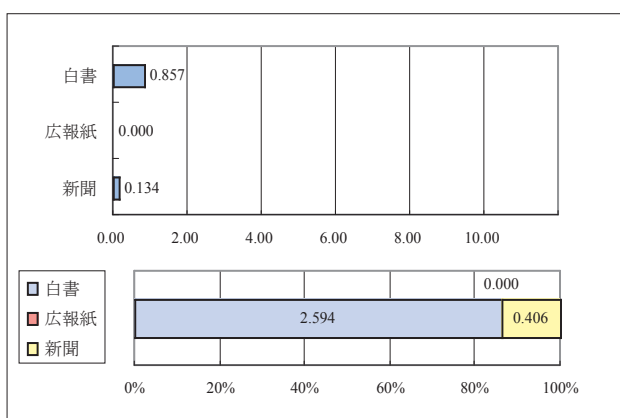


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

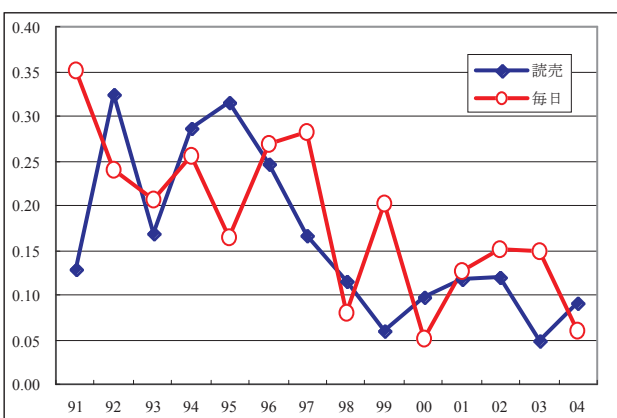


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○「事例研究」は、言い換え語として安定しており、「ケーススタディー」の用法のほとんどにあてはめることができる。

45. コア core

「外来語」言い換え提案 (第2回)

全体	60歳以上
★☆☆☆	★☆☆☆
コア	
言い換え語	中核
用例	新商品の <u>コア</u> となる技術の共有にまで踏み込む。
意味説明	ものごとの中核となるもの
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 始業や終業の時間を従業員が自由に選択できる自由勤務時間制 (フレックスタイム制) [⇒130]において、必ず就業しなければならない中核となる時間帯を、「コアタイム」という場合がある。サラリーマンにはなじみのある語であるが、一般に対しては分かりにくく、「拘束時間帯」と言い換えることができる。

・他社には模倣できない、自社の中核的な技術や知識を、「コアコンピタンス」という場合があるが、「得意技術」「得意分野」などと言い換えることができる。

その他の言い換え語例 核 中心

複合語例 コア指数 = 核指数
 コアビジネス = 中核事業
 コアタイム = 拘束時間帯
 コアコンピタンス = 得意技術 得意分野

【調査データ】

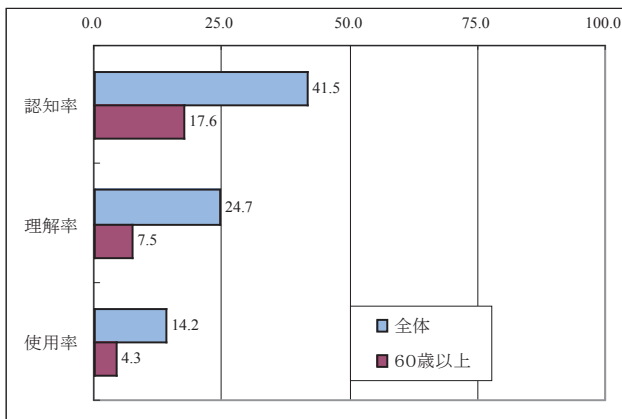


図1 定着度（全体・60歳以上）%

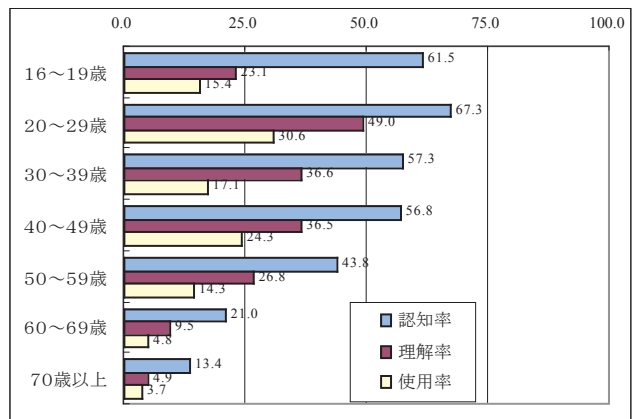


図2 定着度（年齢層別）%

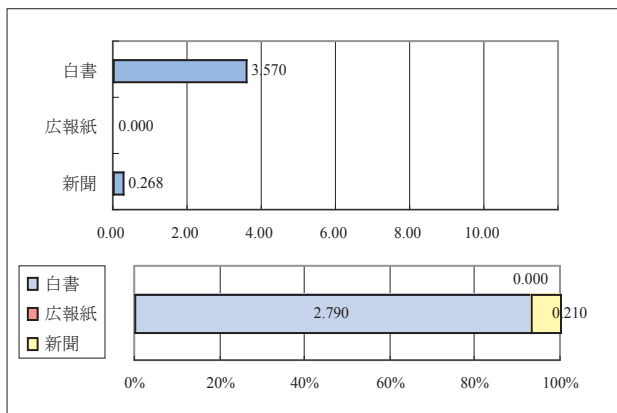


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

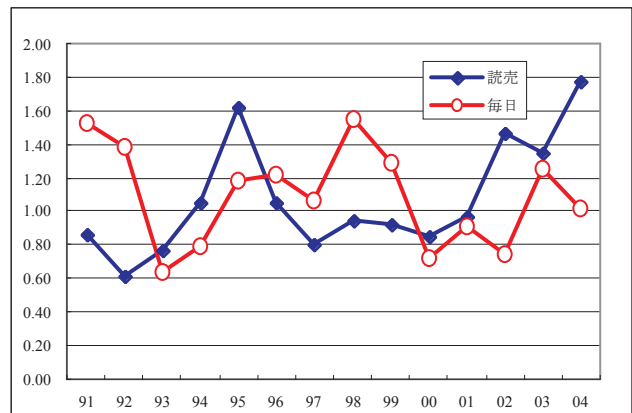


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度は低い。20歳代が高く、60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞における頻度推移は、全体を通してほぼ横ばいである。

【言い換えの論点】

- 言い換え語は「中核」よりも「核」が分かりやすいという意見も多かった。確かに、分かりやすい場合も多いが、「核兵器」の「核」と紛れやすくなる場合もある、という意見があった。このような意見により、「中核」を言い換え語とするが、「核」も[その他の言い換え語例]や[複合語例]には生かした。

46. コージェネレーション cogeneration

「外来語」言い換え提案（第4回）

コージェネレーション	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	熱電併給	
用例	自動車用や家庭用 <u>熱電併給コージェネレーション</u> など応用分野では、小型化や低価格化が今後の技術課題になっており	
意味説明	電気と熱とを同時に作り出して供給すること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 異なる種類のエネルギーを同時に作り出すことが原義であるが、発電設備の排熱を利用する場合など、電気と熱とを同時に作り出すことを指すのが一般的である。 エネルギーの供給を、費用をかけず、また環境にも影響を与えないで、効率的に行うための仕組みを指し、今後普及が進むものと考えられる。 「併給」の語が分かりにくいと感じられる場合は、「熱電同時供給」の語を用いたり、また、意味説明に示す語句で説明を加えることなどが考えられる。 「コ・ジェネレーション」と表記される場合や、略して「コージェネ」と言われる場合もあるが、意味は同じである。 	
その他の言い換え語例	熱電同時供給	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。認知率と理解率の乖離が大きい。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移は、全体を通した増減の傾向はない。定着に至らない段階で、不安定な使用状況にある。なお、2002年以後に減少しているようにも見えるが、略語「コージェネ」は増加しており、「コージェネレーション」と「コージェネ」とを合わせると、それ以前と変わらない。

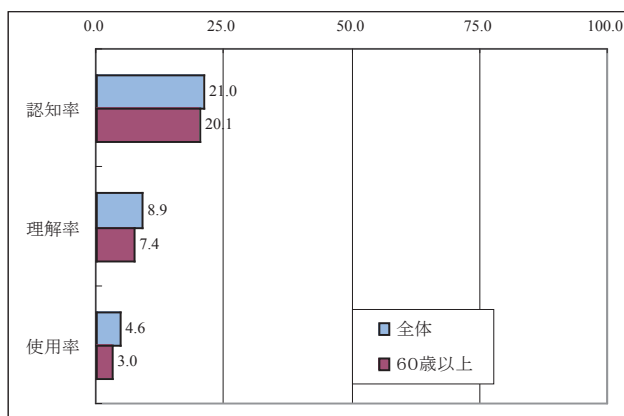


図1 定着度（全体・60歳以上）%

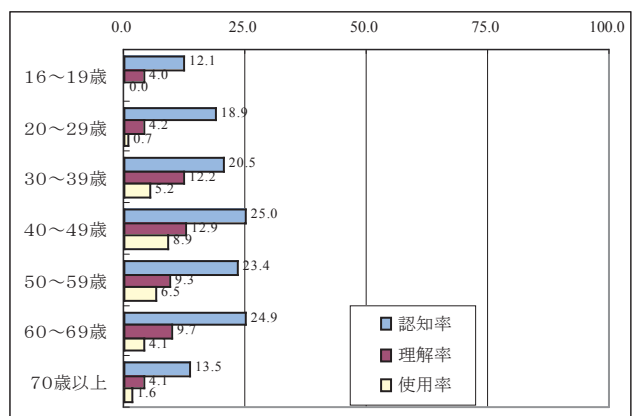


図2 定着度（年齢層別）%

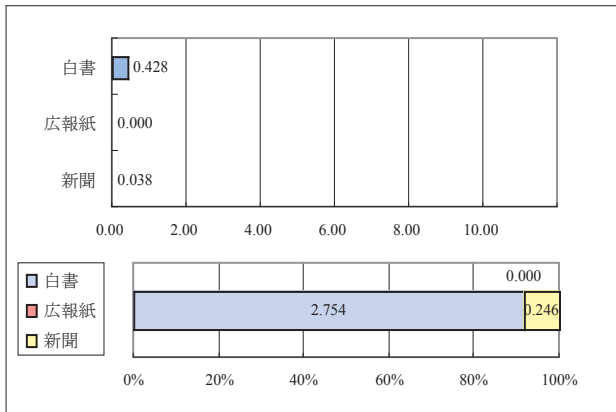


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

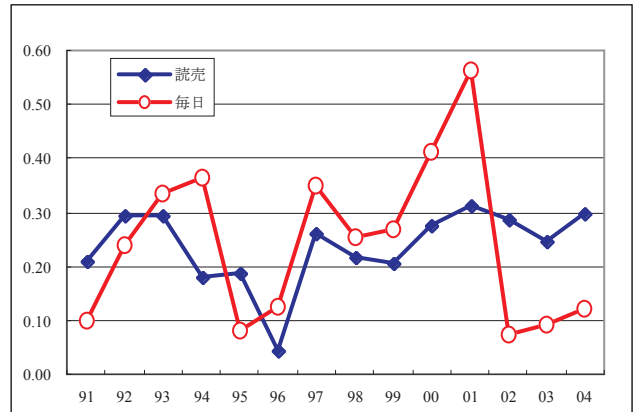


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【背景事情】

○エネルギー効率を高める方向を求める社会の動きに伴って、徐々に実用化が進みつつある。事業用だけでなく、家庭用のコージェネレーションも登場し、ガス会社や電機メーカーなどが商品化を始めている。

【言い換えの論点】

○言い換え語とした「熱電併給」は、意味は明確だが、「併給」がなじみがないという意見が強かった。「熱電同時供給」を[その他の言い換え語例]に示し、[意味説明]の表現とともに、説明を付ける語句として使えることを示した。

47. コミット commit

「外来語」言い換え提案(第1回)

	全体	60歳以上
コミット	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	(1) かかわる	(2) 確約する
用例	(1) 世界中で、市民一人ひとりが環境問題にもっと ^{かかわり} コミットし、行動していくことが重要だと考える。 (2) 東京会議で新規の支援を ^{確約} コミットしたのは日本と米国だけであり、欧州諸国は今までの支援を単にまとめ直しただけである。	
意味説明	(1) 責任を持って深くかかわること (2) 責任ある関与を明言し約束すること	
手引き	・(1) では、場面や文脈によっては、「関与する」「参与する」などと言い換えることも考えられる。 ・(1) では、「深くかかわる」「積極的にかかわる」「責任を持ってかかわる」などと、言い換える方が分かりやすい場合もある。	
その他の言い換え語例	(1) 関与する 参与する	

【調査データ】

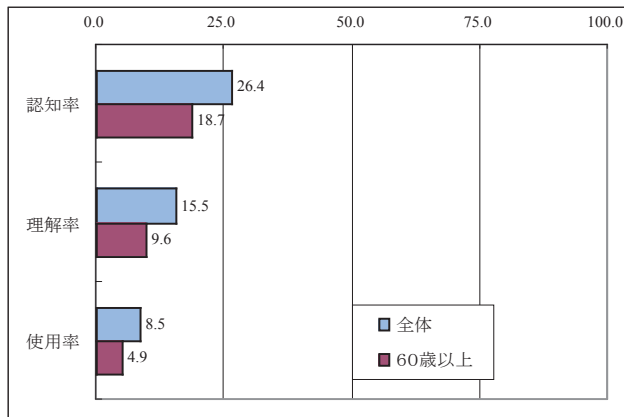


図1 定着度（全体・60歳以上）%

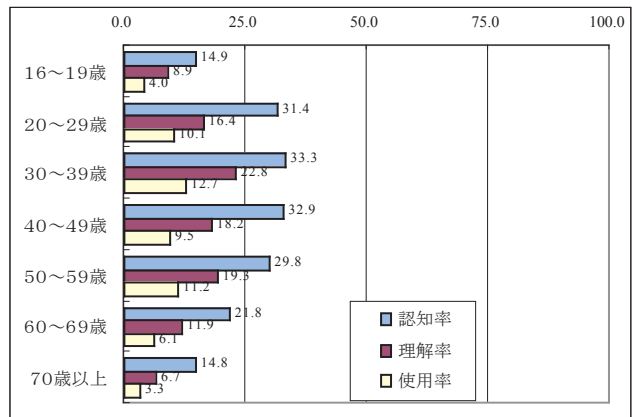


図2 定着度（年齢層別）%

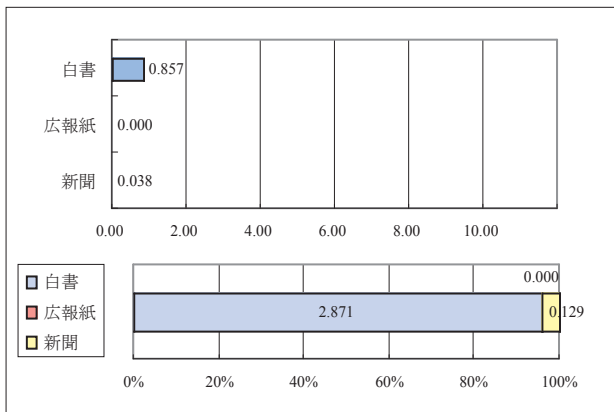


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

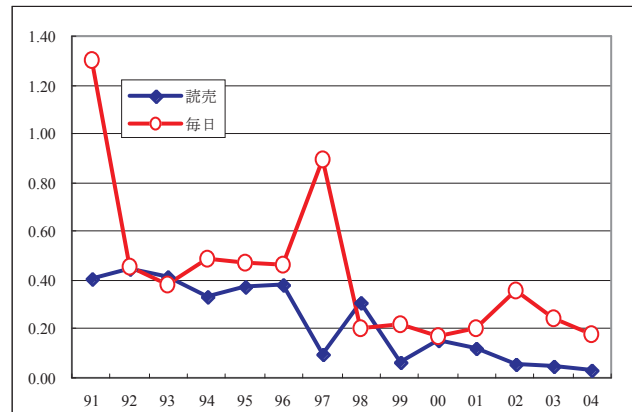


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、毎日新聞の1991年と1997年が突出している。いずれの年も、国際会議の報道の中での用例が多かった。それ以外の年は、全般に減少傾向にある。

【言い換えの論点】

- (1) の語義の言い換え語として、「かかわる」「関与」と「介入」とを比較する作業を行い、「コミット」は「かかわる」「関与」により近いことを確認した。同じように、(2) では、「明言」と「確約」とを比較する作業を行い、「コミット」は「確約」により近いことを確認した。
- 単に「かかわる」ことでなく、責任をもって深くかかわるという意味を表した方が、適切になる場合も多い。「かかわる」の前に形容詞を付けた言い換えの工夫について、[手引き]で言及した。

48. コミットメント commitment

「外来語」言い換え提案（第1回）

コミットメント	全体 ☆☆☆☆	60歳以上 ☆☆☆☆
言い換え語	(1) 関与	(2) 確約
用例	(1) 貿易障壁除去に対するホワイトハウスの強い <u>関与</u> は好景気の遠因になっている。 (2) 暴力の停止を確保するための全ての <u>確約</u> は忠実に遵守されなければならない。	
意味説明	(1) 責任ある関与 (2) 責任ある関与を明言した約束	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) では、「深い関与」「積極的な関与」「責任を持った関与」などと言い換える方が、分かりやすい場合もある。 ・ (2) では、場面や文脈によっては「公約」とも言い換えられる。 ・ 企業が銀行と確約しておく融資限度額を指して「コミットメントライン」ということがあり、「融資枠」と言い換えられる。 	
その他の言い換え語例	(1) かかわり	(2) 公約
複合語例	コミットメントライン = 融資枠	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度推移は、全体を通じて減少の方向にある。

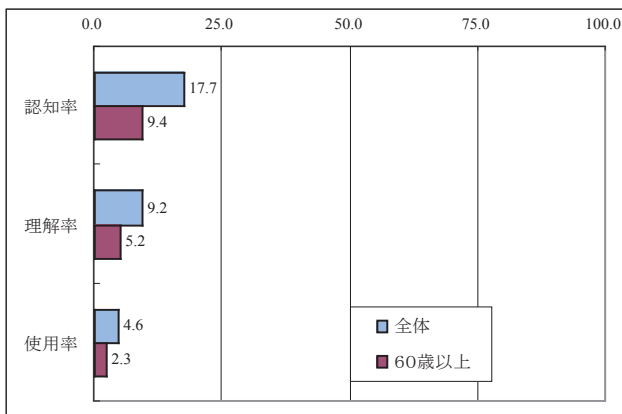


図1 定着度（全体・60歳以上）%

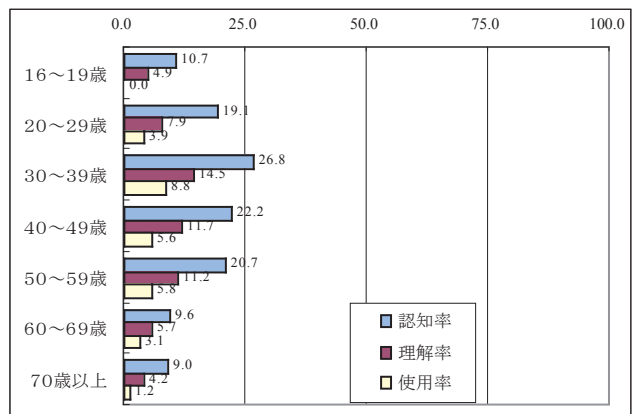


図2 定着度（年齢層別）%

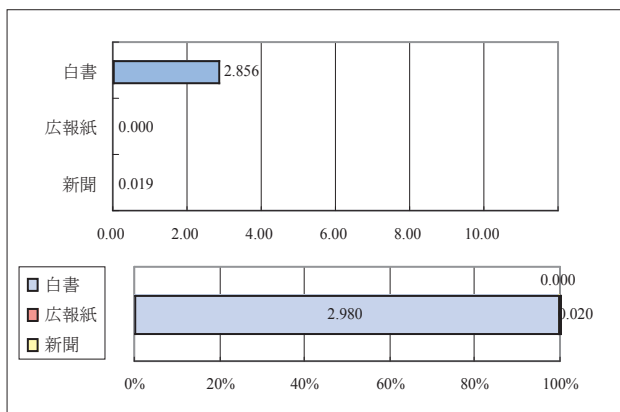


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

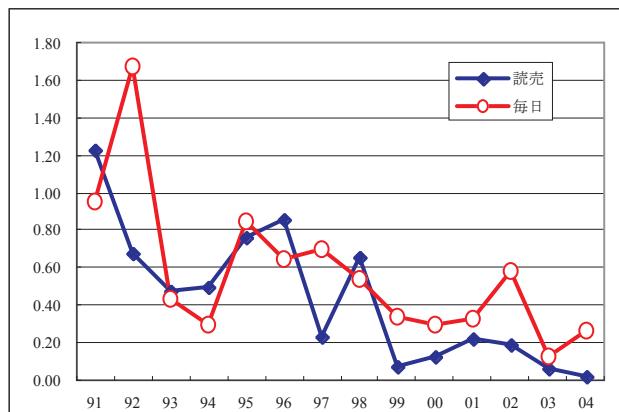


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○「コミット」の場合と対応させつつ、言い換え語を検討した。「コミット」の言い換え語は動詞形を基本としたのに対して、「コミットメント」は名詞形を基本とした。名詞形の場合、「かかわり」よりも「関与」の方が、より適切な意味を表せると考えた。

49. コミュニケ communiqué フランス語

「外来語」言い換え提案 (第2回)

	全体	60歳以上
コミュニケ	★★☆☆	★★☆☆
言い換え語	共同声明	
用例	ニューデリーで開いていた日米欧七カ国や新興市場国など20カ国・地域の財務相・中央銀行総裁会議 共同声明 は23日、 <u>コミュニケ</u> を採択し閉幕した。	
意味説明	国際会議での合意内容を表した公式文書	
手引き	・外交用語として、「声明」「宣言」などと区別する必要がある場合は、「コミュニケ」を用いて、説明を付与するとよい。	
その他の言い換え語例	公式声明	
複合語例	共同コミュニケ = 共同声明	

【調査データ】

- 定着度はやや低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、全体として減少の方向にある。

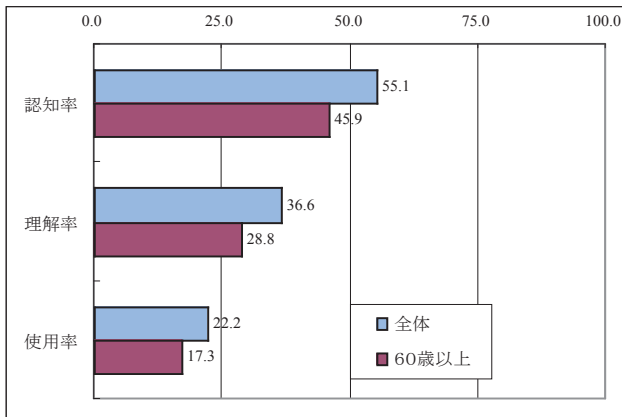


図1 定着度 (全体・60歳以上) %

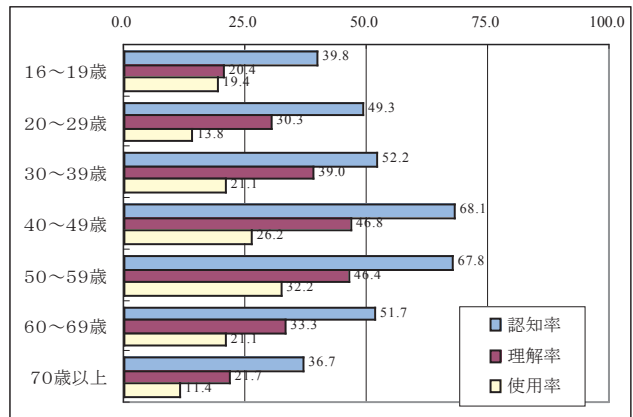


図2 定着度 (年齢層別) %

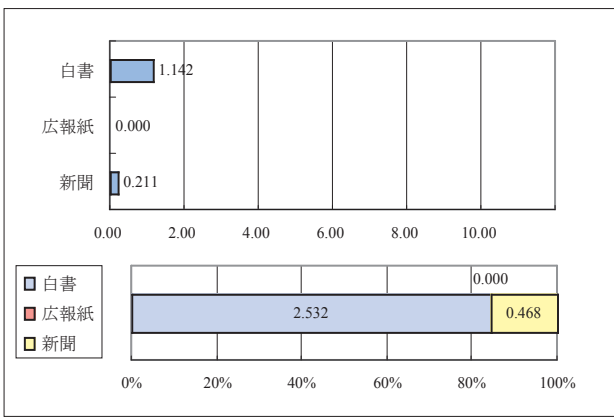


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

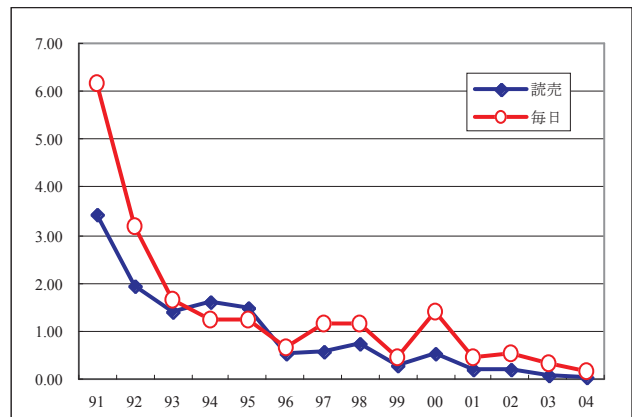


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○外交用語として実績のある外来語であり、「コミュニケ」communiqué, 「声明」statement, 「宣言」declarationのように、原語と対応付けて使い分けている場合もある。こうした現状を見ると、単なる言い換えを提案することは難しい場合もあると考え、説明を付けて使うことについて、[手引き]で言及した。

50. コミュニティー community

「外来語」言い換え提案 (第2回)

	全体	60歳以上
コミュニティー	★★★★☆	★★☆☆☆
言い換え語	地域社会 共同体	
用例	高齢化の急速な進行や転出者の増加等により、 <u>地域社会</u> 、 <u>コミュニティー</u> の活力の低下が懸念される事例も見受けられる。 環境負荷の少ない発電に賛同する人の <u>共同体</u> 、 <u>コミュニティー</u> ができたので	
意味説明	居住地や関心を共にすることで営まれる共同体	

手引き

- ・地域性による結びつきの場合は「地域社会」、共通の関心などによる結びつきを重視する場合は「共同体」と言い換えられる。その両方の意味を生かしたい場合は「地域共同体」とすることもできる。文脈によっては、単に「地域」「社会」で言い換えられる場合もある。
- ・定着に向かっている語だと思われ、「コミュニティー」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例 地域共同体 地域 社会

複合語例

地域コミュニティー = 地域社会
 コミュニティービジネス = 地域事業
 コミュニティーバス = 地域バス
 コミュニティーFM局 = 地域FM局
 コミュニティーセンター = 交流会館
 コミュニティールーム = 地域交流室

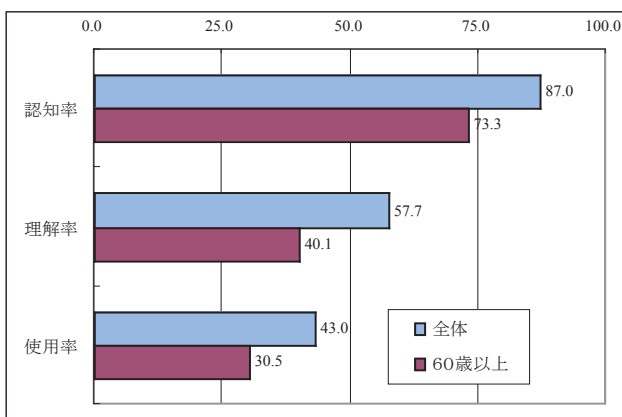
【調査データ】

図1 定着度（全体・60歳以上）%

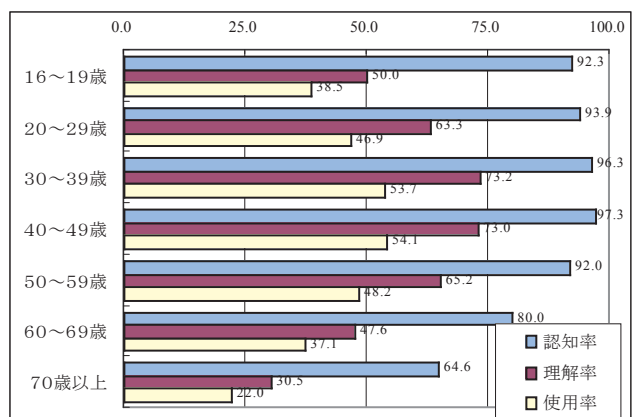


図2 定着度（年齢層別）%

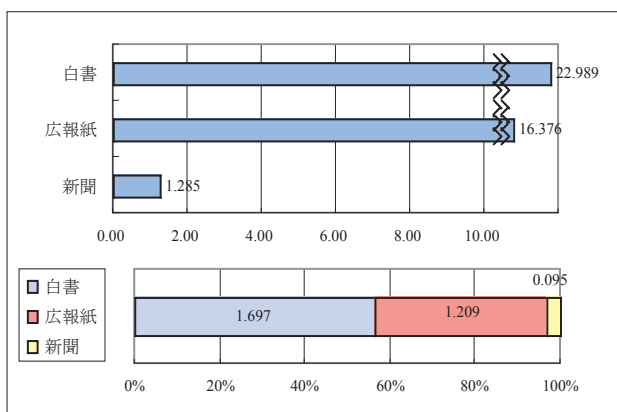


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

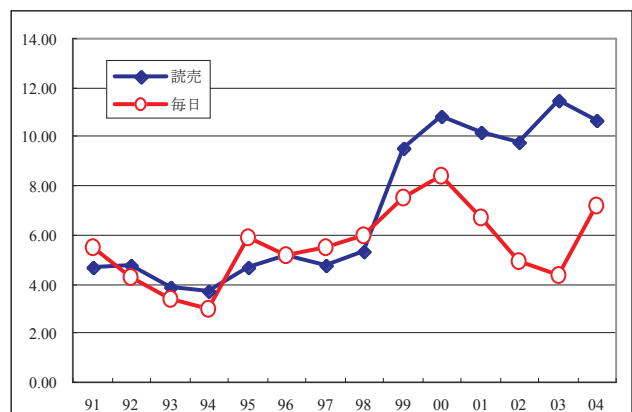


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

○定着度は中程度だがどちらかといえば高い。認知率と理解率の乖離が大きい。

○公共媒体における頻度はきわめて高い。

○新聞の頻度推移は、増加の方向にある。

【言い換えの論点】

○定着が進みつつあり、言い換えの必要性の低い場合も多い。ただし、「コミュニティー○○」という複合語が安易に作られるなど、自治体などが率先して使用している現状もあり、分かりにくい外来語を増幅している側面には注意が必要である。[複合語例]を多く挙げることによって、言い換えの必要性の高い場合もあることを示した。

51. コラボレーション collaboration

「外来語」言い換え提案（第2回）

	全体	60歳以上
コラボレーション	★★★★	★★★★
言い換え語	共同制作	
用例	日本画・華道・陶芸という伝統分野で独自の表現を追求している作家3人の <u>共同制作</u> のコラボレーション。	
意味説明	異分野の者同士が、力を出し合って共同で作り上げること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・事業などを共同で行うことについていう場合は、「共同事業」などと言い換えられる。研究や作業などを行う場合は、「共同研究」「共同作業」でよい。 ・労働や経済の分野などで協力して働くことをいう場合は、「協働」と言い換えることもできる。 ・「コラボ」という略語で使われることもあるが、意味は同じである。 	
その他の言い換え語例	共同事業 共同研究 共同作業 協働	

【調査データ】

- 定着度は低い。認知率と理解率の乖離が大きい。
- 公共媒体における頻度はやや低い。新聞への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移は、全体として増加の方向にある。

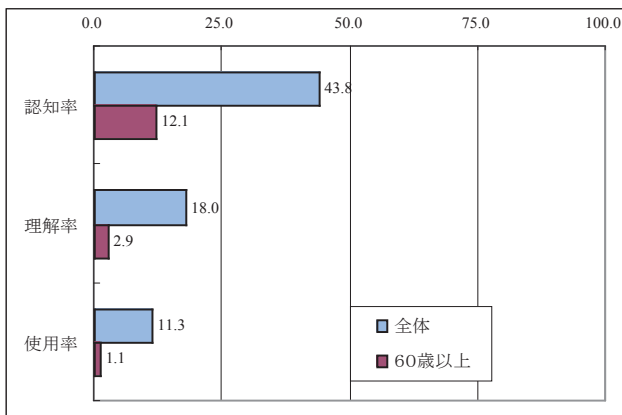


図1 定着度（全体・60歳以上）%

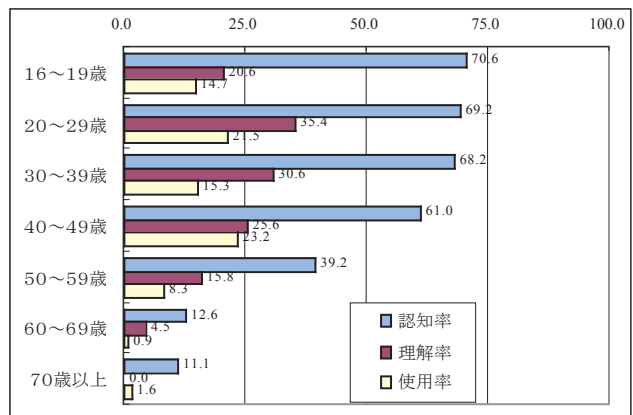


図2 定着度（年齢層別）%

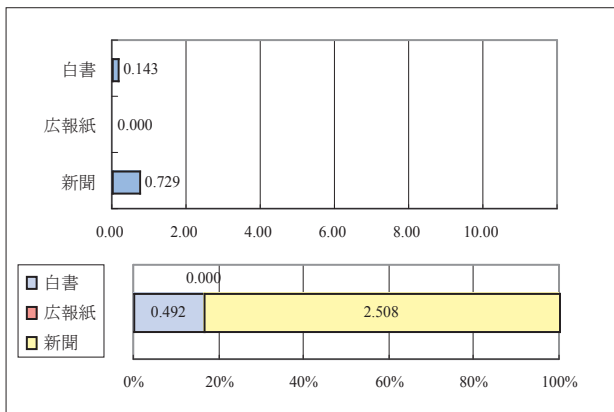


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

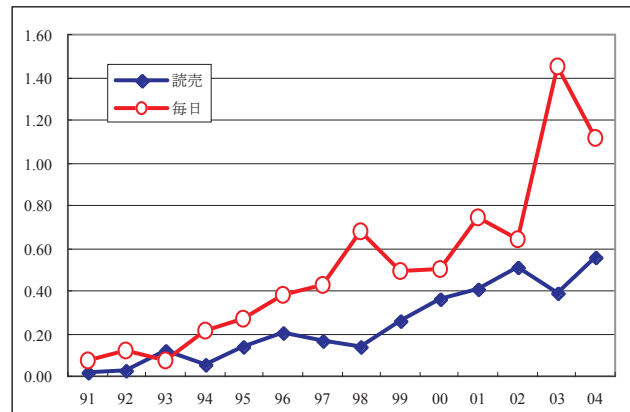


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【言い換えの論点】

○「コラボレーション」は、イメージや感覚を重視する性格が、ひととき強い外来語である。この新味のあるイメージや感覚を生かして言い換えない方がよいという意見と、「共同制作」などと言い換えることで意味は十分に表せるという意見とに、分かれた。公共的な場面で使う場合は、意味を伝えることを重視して、言い換えることを優先すべきという意見でまとまった。

52. コンセプト concept

「外来語」言い換え提案(第2回)

全体	60歳以上
コンセプト	★★☆☆ ★☆☆☆
言い換え語	基本概念
用例	携帯電話を活用した、インターネット網の構築という <u>基本概念</u> コンセプトは、ある女性実業家を中心に開発されたものです。
意味説明	事業や開発を進める際の、基本となる考え方
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 単なる概念や考えではなく、事業や開発などの基本となる、これまでになかった概念を指して使われることが多い。基本となる理念や発想を指す場合は、「基本理念」「基本発想」などと言い換えることができる。 製品開発における基本理念を示す試作品を指す複合語例は、「試作」を含む複合語で言い換えることができる。
その他の言い換え語例	基本理念 基本発想 概念
複合語例	基本コンセプト = 基本概念 コンセプトカー = 試作車 コンセプトモデル = 試作モデル

【調査データ】

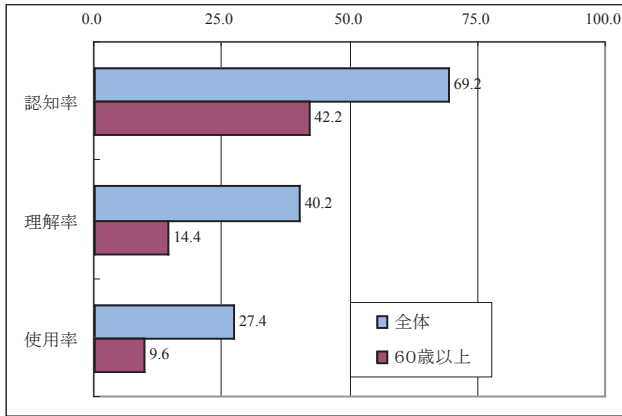


図1 定着度（全体・60歳以上）%

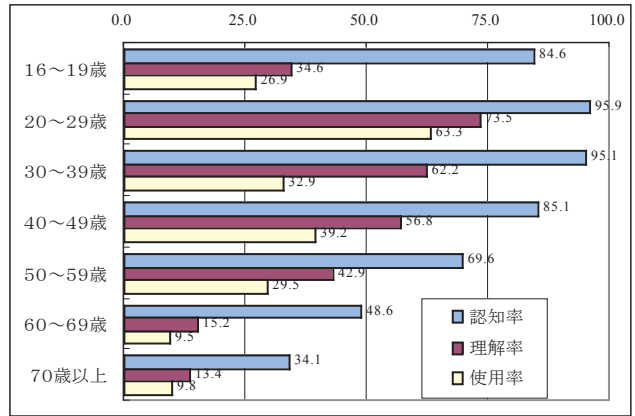


図2 定着度（年齢層別）%

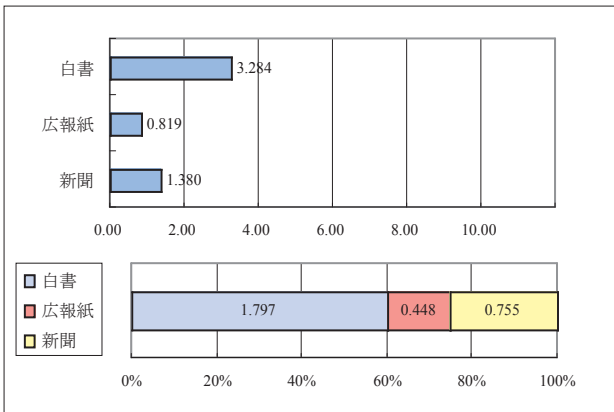


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

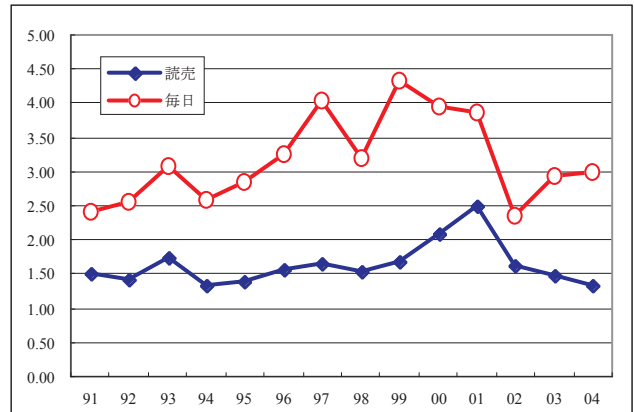


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

- 定着度は中程度だがどちらかといえば低い。認知率と理解率の乖離が大きい。年齢層による差異が大きい。20歳代で高く、60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度はやや高い。
- 新聞の頻度推移は、全体としてほぼ横ばいである。

【言い換えの論点】

- 言い換え語を「基本概念」とするか、「概念」とするかで、意見が分かれた。用例は、事業や開発を行う基本となる新しい概念を指すものが多いことから、「基本概念」と言い換えて、意味を明示するのが適切だと考えた。

53. コンセンサス consensus

「外来語」言い換え提案（第1回）

コンセンサス	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	合意	
用例	利用者や納税者などいろいろな立場の国民の <u>コンセンサス</u> を得ながら進めるべきである。	
意味説明	異なる立場の意見が一致すること	
手引き	・意見を一致させることが容易でない重要な問題について使われ、特に政治にかかわる課題に用いられることが多い。	
その他の言い換え語例	意見の一致	

【調査データ】

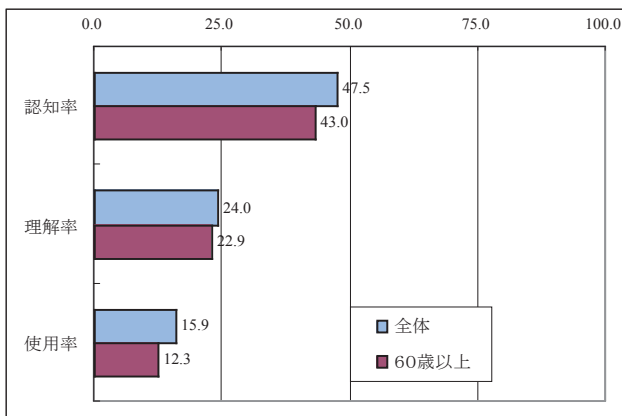


図1 定着度（全体・60歳以上）%

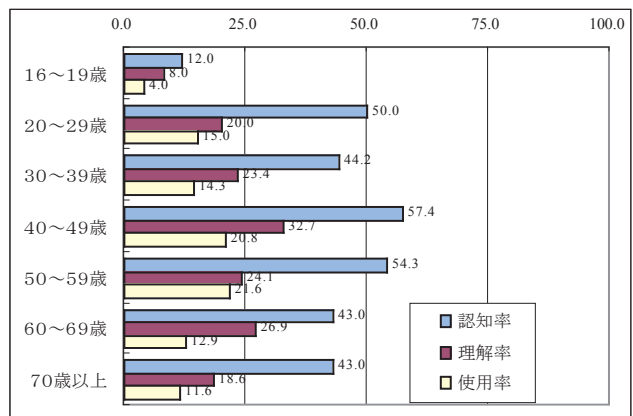


図2 定着度（年齢層別）%

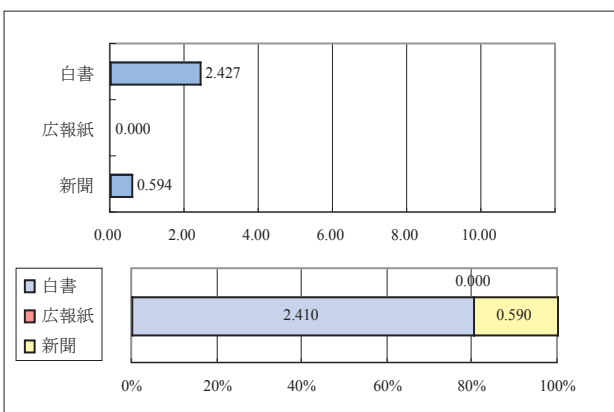


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

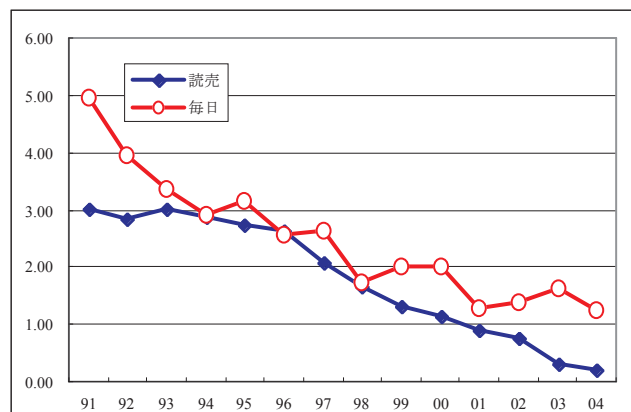


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、全体として減少の方向にある。

【言い換えの論点】

○「コンセンサス」の用法に、「合意」と言い換えることで意味が表せない場合はほとんどなく、外来語を使う必要性の小さい語である。

54. コンソーシアム consortium

「外来語」言い換え提案（第1回）

全体	60歳以上
コンソーシアム	☆☆☆☆ ☆☆☆☆
言い換え語	共同事業体
用例	電源装置や機械組み立てなど異業種の企業と共同事業体 コンソーシアムを設立し、開発を進める。
意味説明	ある目的のために形成された、複数の企業や団体の集まり
手引き	・その他の言い換え語例に示すように、「共同〇〇体」の「〇〇」の部分に事業の内容や主体を補い、 文脈に応じて言い換え語を工夫するとよい。
その他の言い換え語例	共同研究体 共同企業体 企業連合

【調査データ】

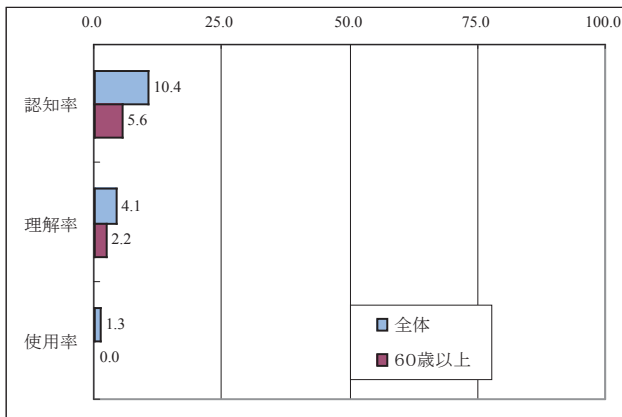


図1 定着度（全体・60歳以上）%

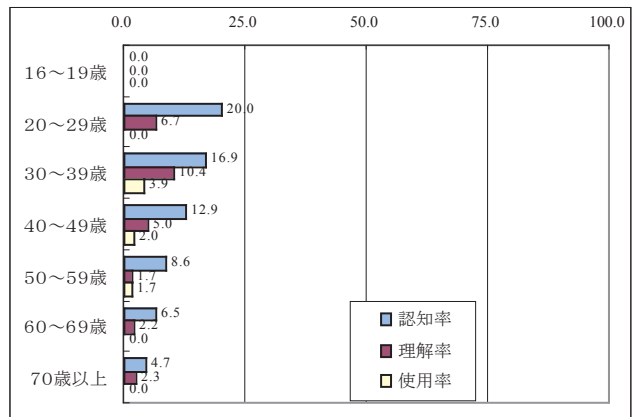


図2 定着度（年齢層別）%

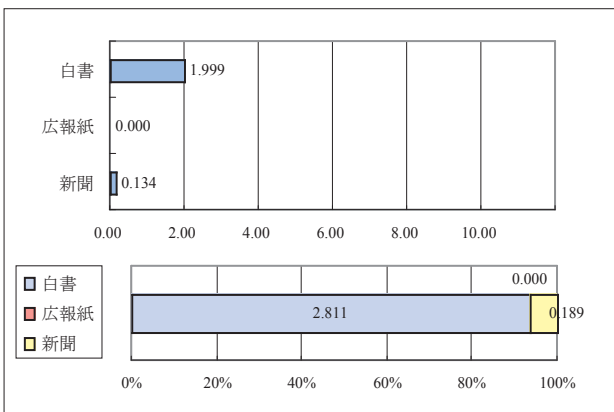


図3 公共媒体における頻度（出現率）と偏り（特化係数）

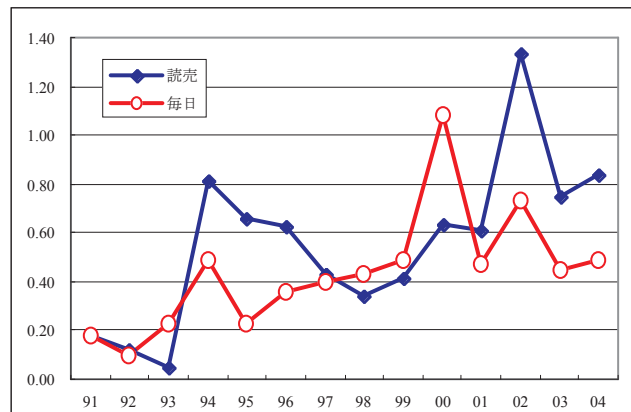


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度推移は、全体として増加の方向にある。

【言い換えの論点】

- 言い換え語の候補には「共同事業体」のほか、「企業連合」「連合体」などが挙げられた。「連合」の意味は、「事業体」に比べて、組織の目的や形態などがややはっきりしないと考えた。
- 「〇〇コンソーシアム」のように、団体名の一部として使われる場合も多く、そのような場合は言い換え語は使いにくいという意見があった。固有名詞を引用する場合は、言い換え語を添えて説明するのが現実的な対応であろう。

55. コンテンツ contents

「外来語」言い換え提案（第1回）

コンテンツ	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	情報内容	
用例	インターネットの急速な普及など情報伝達手段が多様化する中、情報提供会社はこれまで以上に情報内容コンテンツの質と量を求められている。	
意味説明	電子媒体を通してやりとりされる情報の内容	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書物などの内容や目次を意味する語として、従来使われることがあったが、コンピューターやインターネットの普及に伴って、1990年代半ばから、電子媒体における情報の内容を意味する語として、広まり始めた。 ・ 文脈によっては、単に「内容」あるいは「中身」と言い換える方が分かりやすい場合も多い。 ・ 放送で提供される情報の内容を指す場合は「番組」と言い換えることもできる。 	
その他の言い換え語例	内容 中身 番組	

【調査データ】

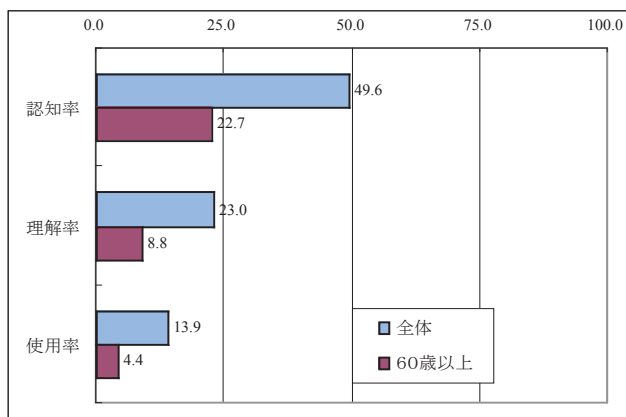


図1 定着度（全体・60歳以上）%

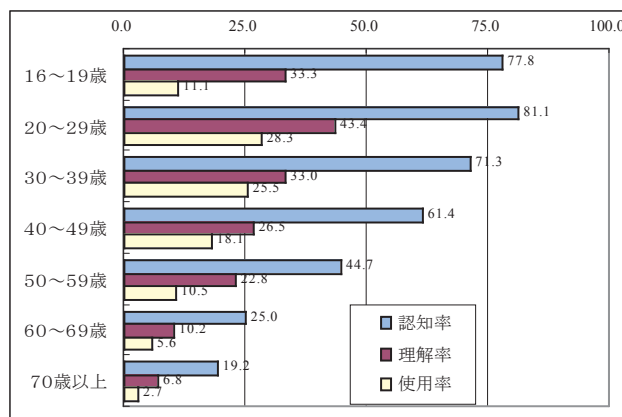


図2 定着度（年齢層別）%

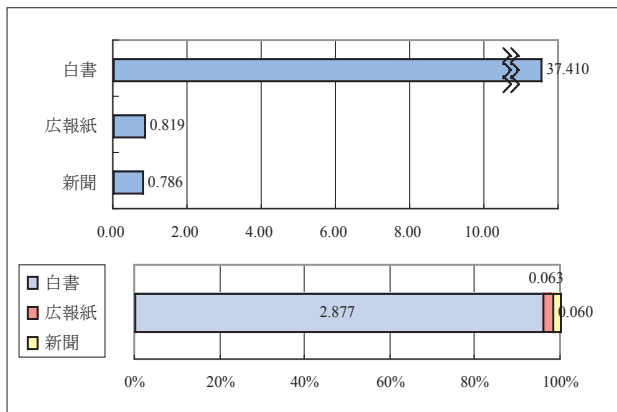


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)



図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

- 定着度は低い。認知率と理解率の乖離が大きい。20歳代が高く、60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度はきわめて高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度は、1995年から増加を始め、2001年を頂点として、その後は減少に転じている。

【背景事情】

- 新聞の頻度が1995年から増加するのは、情報通信技術の発達にもなうソフト産業の興隆により、話題になる機会が多くなったものである。
- 白書への偏在度がきわめて高いが、白書の中でも、情報通信白書と通商白書に偏在している。
- 従来あった書物の内容や目次を意味する語としての用例は、現在の公共媒体にはほとんどない。

【言い換えの論点】

- 公共媒体での使用頻度の高さに比べて、定着度は低く、言い換えなどの必要性は高い。
- 言い換え語は、「情報内容」がよいという意見と、単に「内容」「中身」とするだけの方がよいという意見とがあった。後者の意見は、「情報」と「内容」とでは意味に重複があり、それを複合させるのは不自然というものである。確かに、「コンテンツ」の文脈の中にあてはめると、「内容」「中身」だけで通るものが多い。しかし、「内容」「中身」では、意味が一般的過ぎるという意見も強く、「情報内容」を言い換え語とし、「内容」「中身」を[その他の言い換え語例]に掲げ、[手引き]で言及した。

56. コンファレンス conference

「外来語」言い換え提案(第3回)

	全体	60歳以上
コンファレンス	★★★★	★★★★
言い換え語	会議	
用例	21世紀の金融ビジネスの戦略について議論する <u>コンファレンス</u> を開催します。	
意味説明	特定の問題について検討する会議	
手引き	・「会議」では意味が広すぎると感じられる場合は、内容に即して「検討会議」「研究会議」などと言い換えることもできる。	

- ・「〇〇コンファレンス」の形で、具体的な会議の名称に用いられる場合も多いが、公的な機関がこの語を用いる場合は、「会議」「検討会議」などの語を用いて、説明を付与する配慮が必要である。
- ・「カンファレンス」という語形で用いられることもあるが、この語形は、アメリカのバスケットボール・フットボール・野球などに関する、競技会や組織・制度の名称に用いられる場合が多い。そうしたスポーツになじみのない人が相手に想定される場合には、「競技会」などの語で説明を付与するのが望ましい。
- ・「カンファレンス」という語形で用いられることもあるが、この語形は、医療に関する症例検討会を指す場合によく用いられる。その場合は「症例検討会」と、言い換えたり説明を付けたりすることができる。

【その他の言い換え語例】 検討会議 研究会議 症例検討会 競技会

【調査データ】

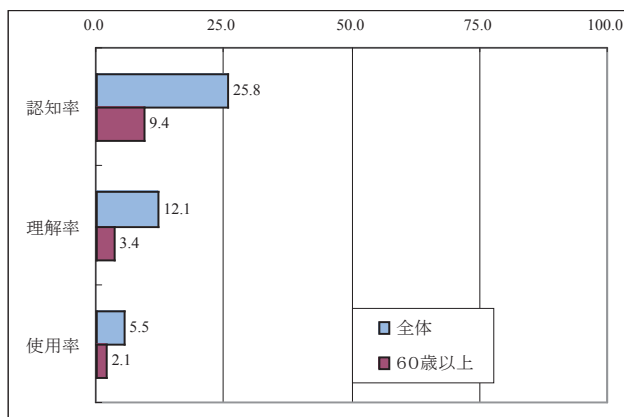


図1 定着度（全体・60歳以上）%

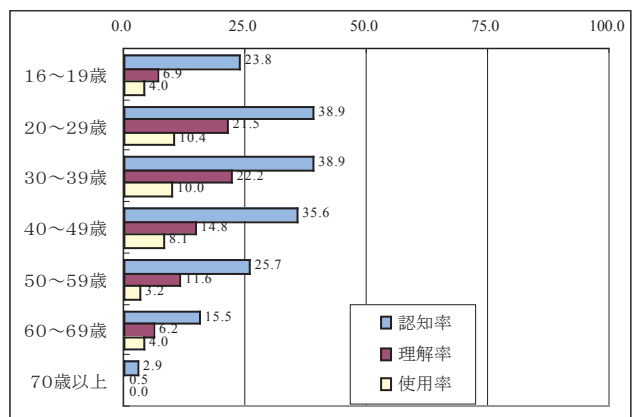


図2 定着度（年齢層別）%

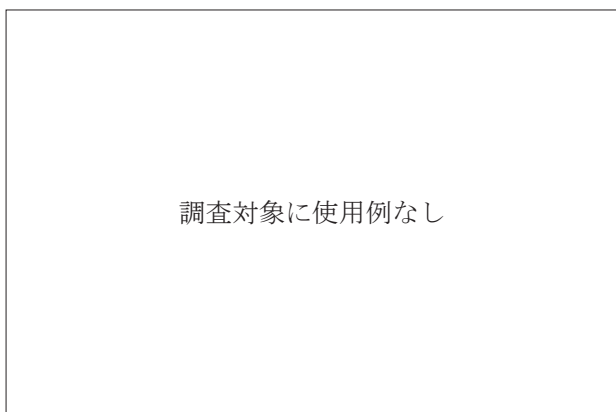


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

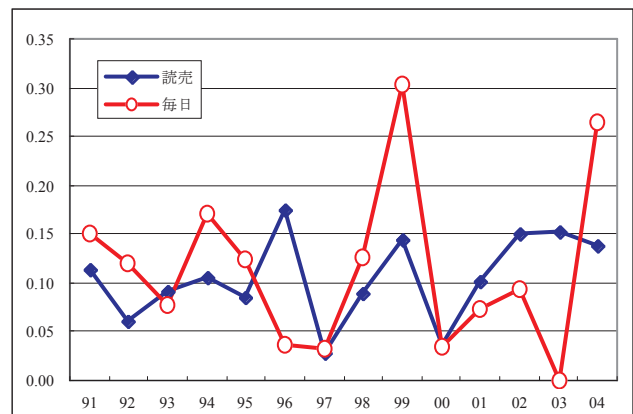


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度はきわめて低い。認知率と理解率の乖離が大きい。
- 公共媒体の頻度はきわめて低い（調査対象には使用例がない）。
- 新聞の頻度推移には、全体を通した増減の方向はない。定着に至らない段階で不安定な使用状況にある。

【言い換えの論点】

- 単なる「会議」では、意味が広過ぎて不適切という意見もあったが、現実に「コンファレンス」と呼ばれているものを、「会議」と呼んでも問題のない場合が多いことから、「会議」を言い換え語とした。会議の内容や形態によって呼び分けたいときは、[その他の言い換え語例]を使えばよいということを記した。

57. コンプライアンス compliance

「外来語」言い換え提案（第3回）

コンプライアンス	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	法令遵守	
用例	企業の <u>コンプライアンス</u> にかかる取組みを補完する意味からも <small>法令遵守</small>	
意味説明	企業などが、法令や規則をよく守ろうとすること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・1990年代後半から一般化が始まった語で、社会に混乱を与えないようにする企業倫理、社会からの信頼を高めるための企業戦略などのかかわりで話題になることが多い。 ・企業内の部署や役職の名称に用いられることも多いが、一般に対しては、言い換え語を用いて説明を付与することが必要な場合も多い。 ・医師による服薬指示に関して、それをよく守ることを指して言われる場合があるが、その場合は「服薬遵守」と言い換えることができる。 ・「法のコンプライアンス」など、文脈から何を遵守するのが明らかな場合は、単に「遵守」と言い換えることができる。 ・新聞などでは「遵守」の語は「順守」と書かれることもあるが、意味は同じである。 	
その他の言い換え語例	服薬遵守 遵守	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だが、どちらかといえば低い。
- 新聞の頻度推移は、2002年以後増加の方向にある。

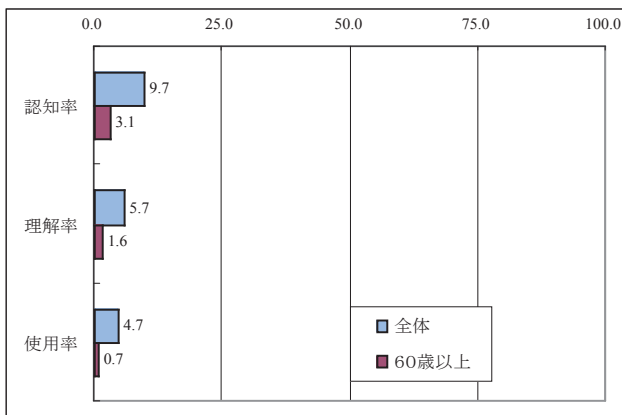


図1 定着度（全体・60歳以上）%

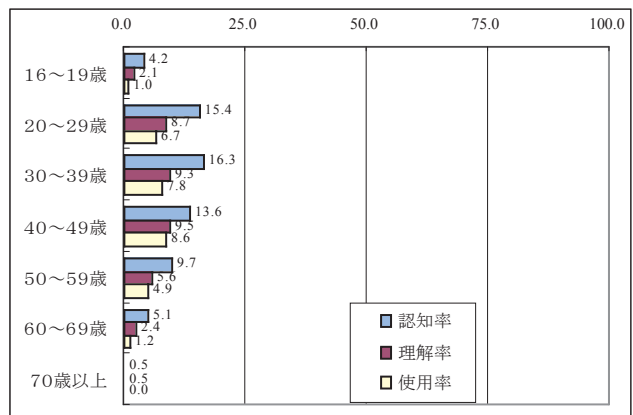


図2 定着度（年齢層別）%

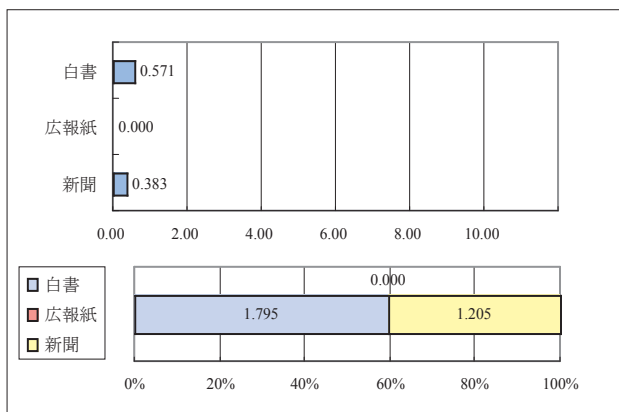


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

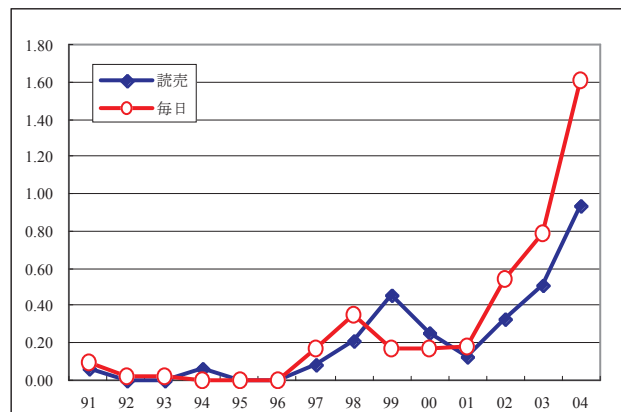


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【背景事情】

○2002年頃から普及を始めた背景には、企業の不祥事が相次いだことがある。企業の社会的な責任(CSR)や、企業統治(コーポレートガバナンス)とともに、この概念が重視されるようになり、報道でも繰り返し取り上げられた。

【言い換えの論点】

○遵守するのは法令や規則だけではなく、倫理や道徳なども含むのではないかという意見が、外部から多く寄せられた。しかし、用例によると「コンプライアンス」の概念は、法令や規則をよく守ろうとすることであると考えられ、倫理や道徳にまで及ぶものではない。

58. コンポスト compost

「外来語」言い換え提案(第4回)

	全体	60歳以上
コンポスト	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	たい肥	生ゴミたい肥化装置
用例	単にごみを処理するという考えだけでなく、良質の ^{たい肥} コンポストを作るという気持ちが大切で、 総菜や弁当の売れ残りなどを ^{生ゴミたい肥化装置} コンポストに投入して	
意味説明	たい肥。また、生ごみからたい肥を作り出すための装置。	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の再生利用を促進し、化学肥料による土地汚染を防ぐ、環境保全の立場で話題になることが多い。 ・漢字を用いて「堆肥」と書くこともできるが、「堆」は常用漢字外の難しい字であるので、振り仮名を付けるのが望ましい。 ・生ごみをたい肥にする装置を指す場合は、「生ゴミたい肥化装置」と言い換えることもできる。 	

【調査データ】

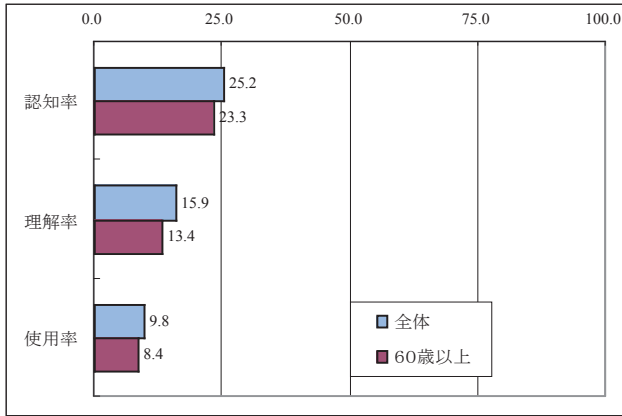


図1 定着度（全体・60歳以上）%

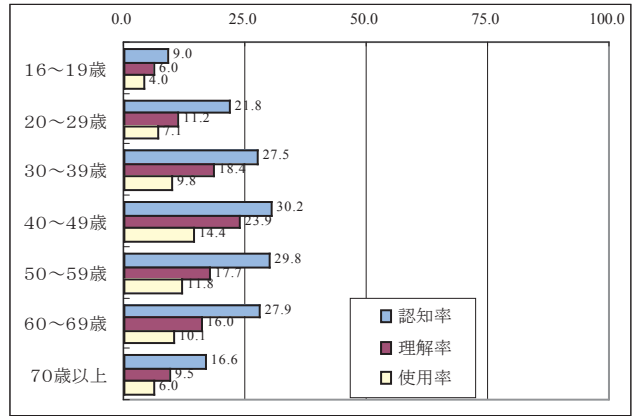


図2 定着度（年齢層別）%

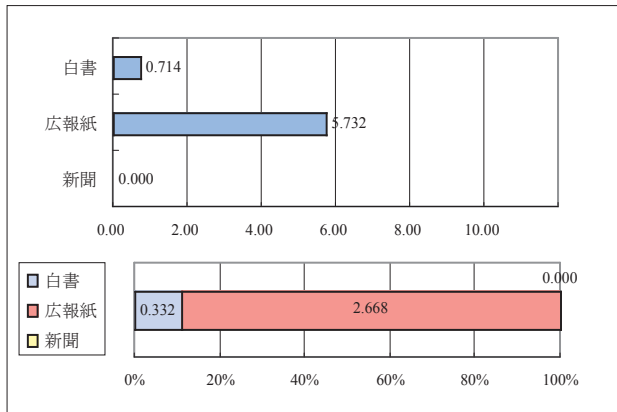


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

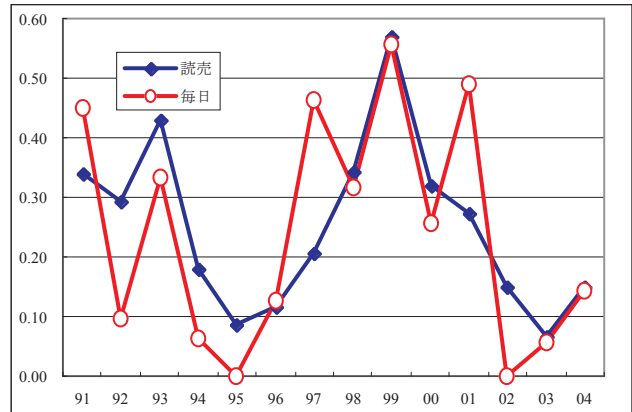


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度はやや高い。広報紙への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、1990年代後半に増加し、2000年代に減少している。

【背景事情】

- 新聞の頻度の1990年代後半の増加は、環境保全の取り組みのひとつとして、家庭などで生ごみから肥料を作ることが注目されたことを背景としている。定着度の低い言葉でありながら、広報誌に偏在していることが、特異である。たい肥を作る装置としての「コンポスト」の購入に補助金を出すなどの、自治体による環境保存への取り組みによるものと考えられる。
- 英語compostは「たい肥」を表す語だが、外来語「コンポスト」は、「たい肥」そのものを表す場合と、それを作る装置を表す場合との両方がある。装置を用いてたい肥を作る新しいやり方が導入されたとき、「コンポスト」という外来語が、その新しいやり方とともに導入された。新しいやり方で作り出されたたい肥と、その際に使う装置とを、「コンポスト」と呼んだという経緯があったと考えられる。

【言い換えの論点】

- 【背景事情】の第2点に記したように、たい肥を指す場合と、たい肥を作る装置を指す場合の二つの意味があるので、それを区別した言い換え語を並記するのが分かりやすいと考えた。

59. サーベイランス surveillance

「外来語」言い換え提案（第1回）

サーベイランス	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	調査監視	
用例	農場段階での指導と調査監視の強化に全力を挙げたい。	
意味説明	継続的な調査によって事態の成り行きを厳しく見張ること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・経済や感染症に関して、調査によって監視することを表す例が多く、「調査監視」と言い換えられる。文脈によっては、単に「監視」と言い換えてもよい。 ・類義の外来語「モニタリング」（継続監視）[⇒151]が、継続的な調査によって変化を見逃さないように監視することを表すのに対して、「サーベイランス」は、悪い部分を見逃さないようによく調べて監視することを表す。 ・組織名を引用する場合などは、「サーベイランス（調査監視）委員会」など、言い換え語を（ ）内に示すなどの配慮があるとよい。 	
その他の言い換え語例	監視	
複合語例	サーベイランス調査 = 監視調査	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。認知率と理解率の乖離が大きい。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、毎日新聞の1992年と1996年とが突出するが、この2年の例は「厚生省エイズサーベイランス委員会」が大部分を占める。この突出した部分を除くと、全般に、減少傾向にある。

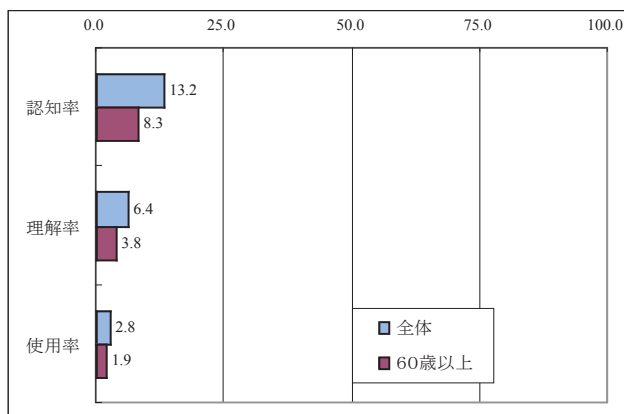


図1 定着度（全体・60歳以上）%

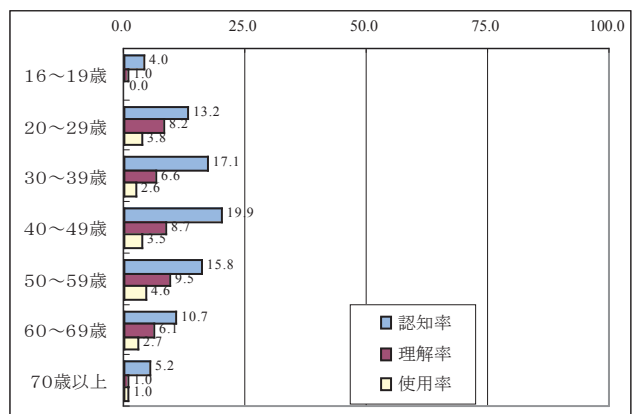


図2 定着度（年齢層別）%

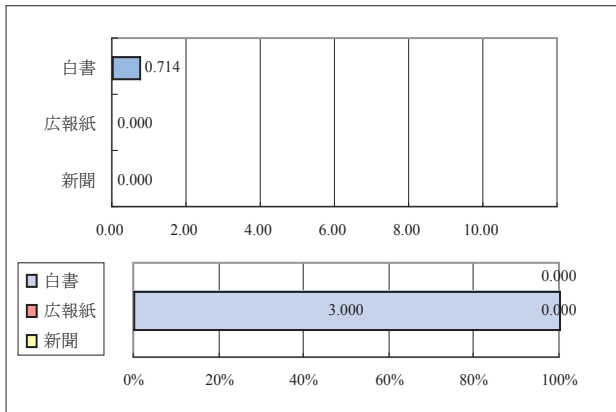


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

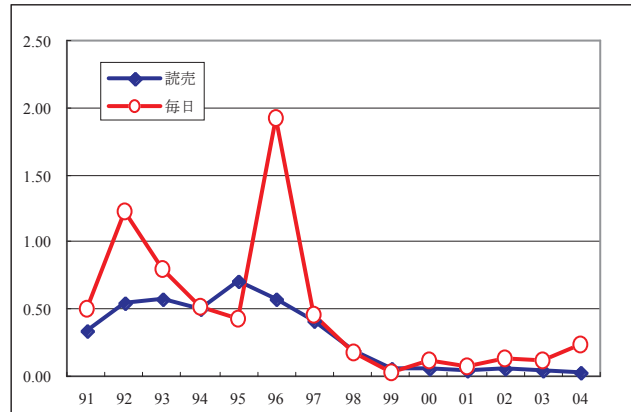


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○「監視」で言い換えられる場合も多いが、類義語「モニタリング」(継続監視)と区別したい場合など、「調査監視」と言い換えた方が、より適切な意味になる場合がある。この区別を重視して、[言い換え語]と[手引き]を記した。

→参照 モニタリング

60. サプライサイド supply-side

「外来語」言い換え提案 (第3回)

	全体	60歳以上
サプライサイド	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	供給側	
用例	新規産業創出, 既存産業の競争促進や不振企業の経営再建等 ^{供給側} サプライサイドからの改革をさらに推進していくことが求められている。	
意味説明	経済における, 物資や商品を供給する側	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・「サプライサイドの経済学」「サプライサイドの政策」などと言われる場合は, 経済を活性化させる役割を供給側に見るもので, 「供給重視」と言い換えると分かりやすい。 ・文脈によっては, 「業界」と言い換えるのが分かりやすい場合もある。 ・反意語「デマンドサイド」は, 「需要側」「消費者」などと言い換えられる。 	
その他の言い換え語例	供給重視 業界	
複合語例	サプライサイドエコノミクス = 供給重視の経済学	

【調査データ】

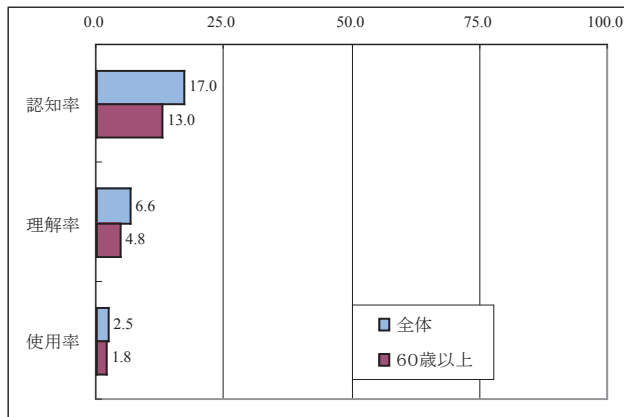


図1 定着度（全体・60歳以上）%

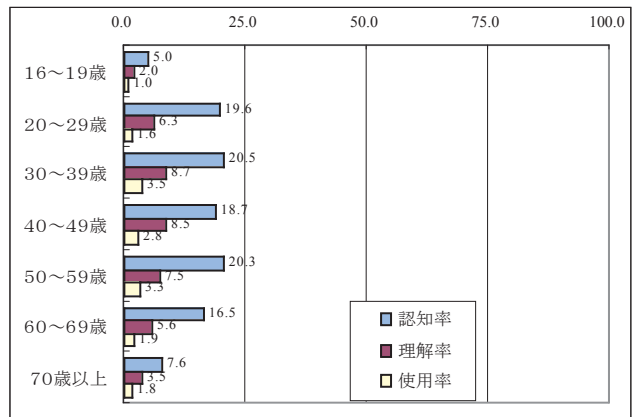


図2 定着度（年齢層別）%

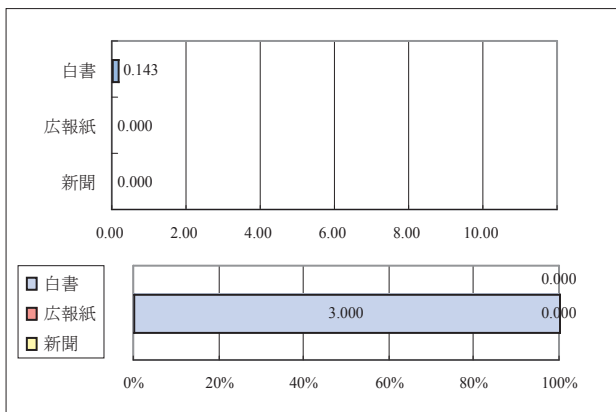


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

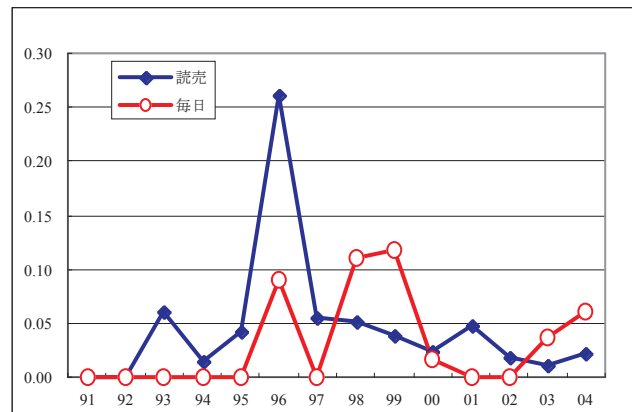


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度はきわめて低い。認知率と理解率の乖離がかなり大きい。
- 公共媒体における頻度は低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞には、使用例がきわめて少ないため、推移の傾向を見ることはできない。1996年に突出しているように見えるが、米国の大統領選挙で争点となった経済政策の報道の中に「サプライサイドの経済学」という使用例が頻出したことによるものである。

【言い換えの論点】

- 経済における供給する側を指す語であり、第一の言い換え語は「供給側」で問題ない。経済学や経済政策においては、供給側を重視する考え方を指す場合もあり、それを表現した「供給重視」の語で言い換えるのが分かりやすい場合も多い。ただし、両者は語義を区分する性質のものではなく、連続する意味としてとらえた方が分かりやすいと考えた。

61. サプリメント supplement

「外来語」言い換え提案（第4回）

サプリメント	全体 ★★★☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	栄養補助食品	
用例	「野菜や果物が不足気味」と判定され、数種類の <u>栄養補助食品</u> のサプリメントを食事に合わせて取るように指示された。	
意味説明	通常の食事だけでは不足しがちな栄養を補うための食品	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・形状は、錠剤・カプセル・粉末・液体など様々なものがあるが、液体のものの場合、「栄養補助飲料」と言い換えることもできる。 ・1990年代後半から一般化が始まり、急速に普及が進んでいると見られる。ただし、60歳以上では理解できない人も多い語であるので、言い換えや説明付与の必要性は高い。 	
その他の言い換え語例	栄養補助飲料	

【調査データ】

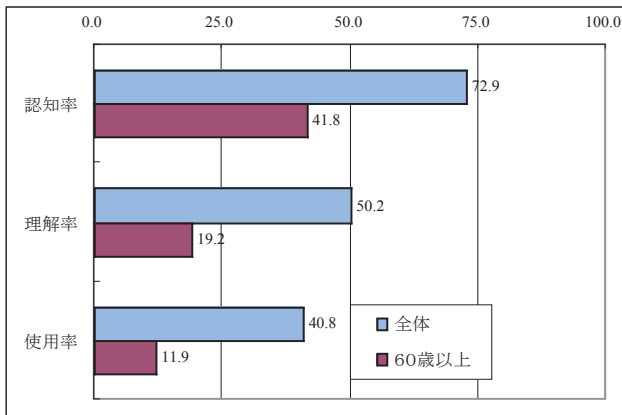


図1 定着度（全体・60歳以上）%

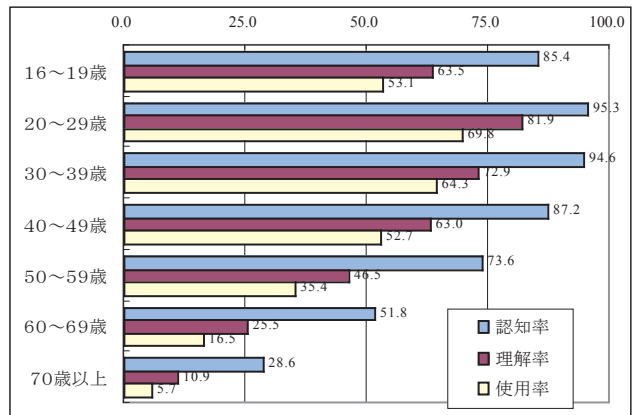


図2 定着度（年齢層別）%

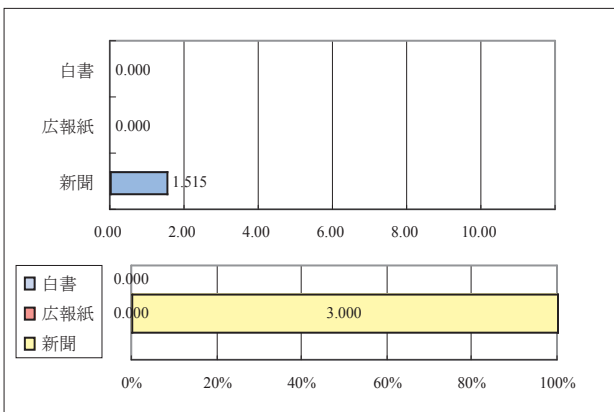


図3 公共媒体における頻度（出現率）と偏り（特化係数）

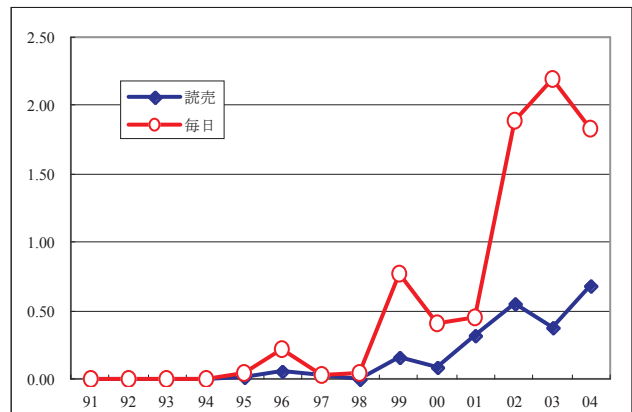


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度は中程度だが、どちらかといえば高い。年齢層による差異が大きい。20歳代で高く、60歳代で特に低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば低い。新聞への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度推移は、1999年以後増加の方向にある。

【背景事情】

- 食事だけでは不足する栄養を補うものとして、1990年代末から急速に一般化してきた。ただし、定着度は年齢層による差異が著しく、現状では国民全体の理解が進んでいるとは言い難い。

【言い換えの論点】

- サプリメントは、その形状からすれば、「栄養補助食品」というよりも、「栄養補助飲料」あるいは「栄養補助剤」とした方が分かりやすい、という意見があった。「食品」と「飲料」とを、形状によって使い分けることを「手引き」で推奨したが、「剤」は「その他の言い換え語例」にも採用しなかった。これは「サプリメント」が医薬品ではないことを明示する必要があると考えたことによる。

62. サマリー summary

「外来語」言い換え提案（第2回）

	全体	60歳以上
サマリー	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	要約	
用例	何よりも有り難かったのは、19世紀までの本にはよく欄外に <u>サマリー</u> がつけてあったものです。 <small>要約</small>	
意味説明	議論や情報などの重要な部分だけを簡潔にまとめたもの	
手引き	・ 会議で議長が発表するものは「総括」、市場の状況を知らせるものは「概要」など、議論や情報の種類によって、言い換え語を使い分けるのが望ましい。	
その他の言い換え語例	要旨 総括 概要	
複合語例	議長サマリー = 議長総括 マーケットサマリー = 市場概要	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞には、使用例がきわめて少ないため、推移の傾向を見ることはできない。

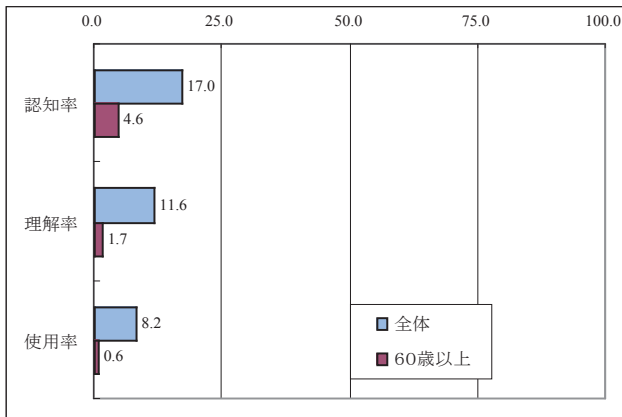


図1 定着度 (全体・60歳以上) %

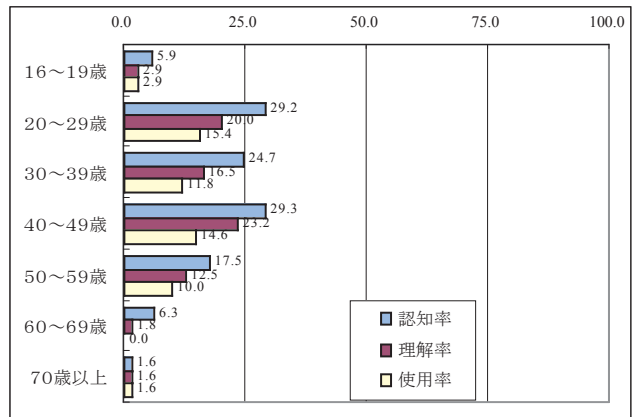


図2 定着度 (年齢層別) %

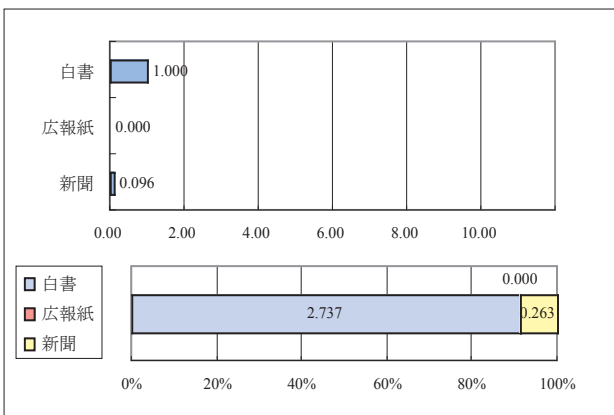


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

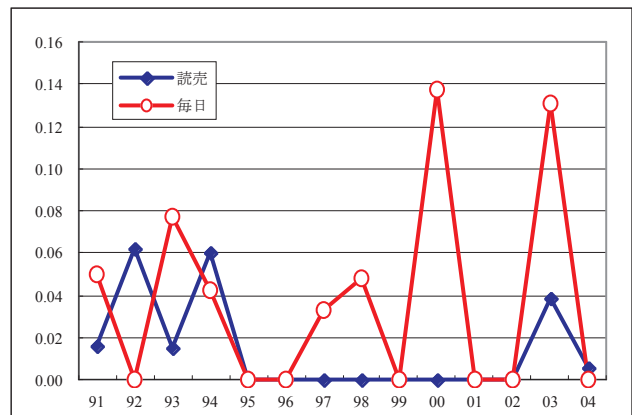


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○ 白書に多い用法は「議長サマリー」、新聞には記事の「サマリー」という使い方も見られる。基本義の「要約」を言い換え語としつつも、用法ごとに適切な言い換え語を使い分けた方が分かりやすいと考えた。

63. サムターン thumb turn

「外来語」言い換え提案 (第4回)

	全体	60歳以上
サムターン	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	うちかぎ 内鍵つまみ	
用例	特殊な形をした工具や針金を差し込んでサムターンを回して解錠する手口。 内鍵つまみ	
意味説明	ドアの鍵の内側に取り付けられている回転式つまみ	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・「サム」は親指, 「ターン」は回転の意味で, 鍵の内側のつまみが親指状をしていたところからこの呼び名がある。形状の異なるつまみも「サムターン」と呼ばれることがある。 	

- ・つまみの部分だけでなく、内鍵自体を指す場合もあり、その場合は「内鍵」と言い換えることができる。
- ・扉に穴を開けて特殊な器具で内鍵のつまみを回す窃盗の手口を指す「サムターン回し」の語によって、2002年ごろから広まり始めた。

その他の言い換え語例

うちかぎ
内鍵

複合語例

サムターン回し = うちかぎ
内鍵回し

【調査データ】

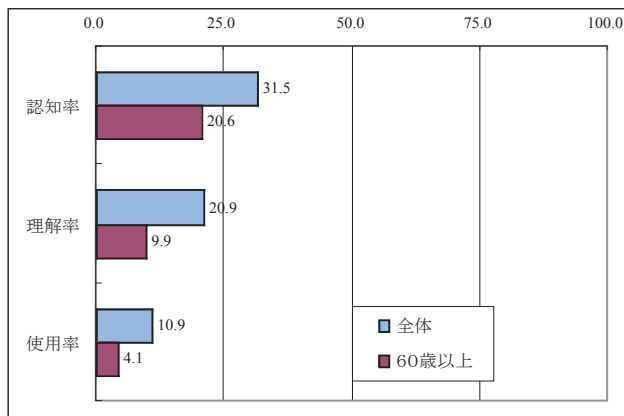


図1 定着度（全体・60歳以上）%

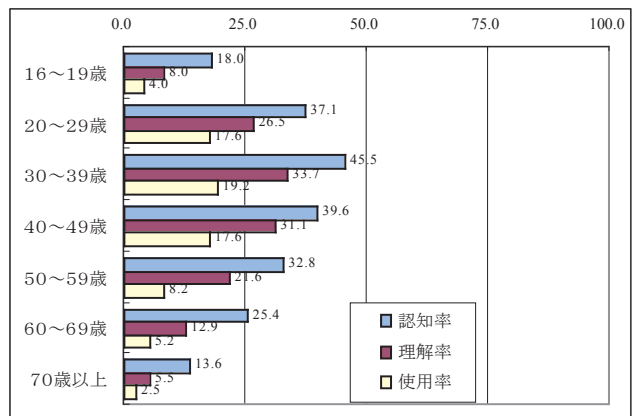


図2 定着度（年齢層別）%

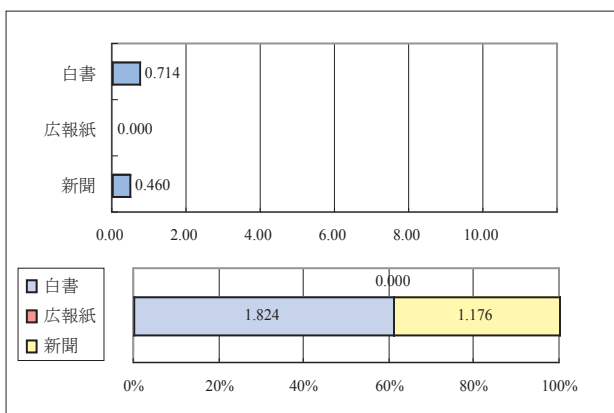


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

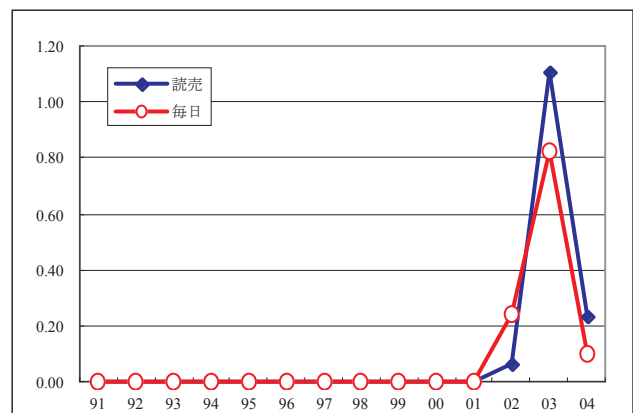


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば低い。白書への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移は、2002年に登場し、2003年に突出している。

【背景事情】

- 新聞の頻度推移は、2002年に新たに登場し2003年急増した新たな窃盗の手口である「サムターン回し」の増減が現れたものである。2004年に減少するのは、この手口に対する防犯対策が施され、話題になることが減少したことによる。

【言い換えの論点】

- 物の名前の場合、外来語を言い換え語に置き換えることは難しい。言い添えや説明の語として使われることを前提に、言い換え語を考えた。

64. シーズ seeds

「外来語」言い換え提案（第1回）

シーズ 全体 ★☆☆☆ 60歳以上 ★☆☆☆
 言い換え語 たね 種
 用例 基金の目的は研究開発そのものではなく、シーズを花開かせるための側面支援で、
 意味説明 将来に大きな発展を予想させる新技術
 手引き
 ・企業や大学などの新技術を、将来大きく実を結ぶ可能性を秘めた種ととらえている語。技術の種であることを、言い換え語に示した方が分かりやすい場合もある。
 ・一般によく使われる「ニーズ」と一組にして使われることも多いが、その場合は、「日米に点在したニーズやシーズ（技術の種）を」などのように、言い換え語や説明を（ ）内に示すのが良い。
 その他の言い換え語例 種子 技術の種
 複合語例 技術シーズ = 技術の種

【調査データ】

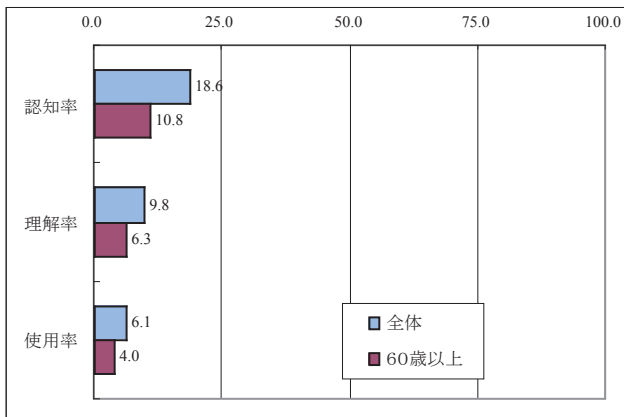


図1 定着度（全体・60歳以上）%

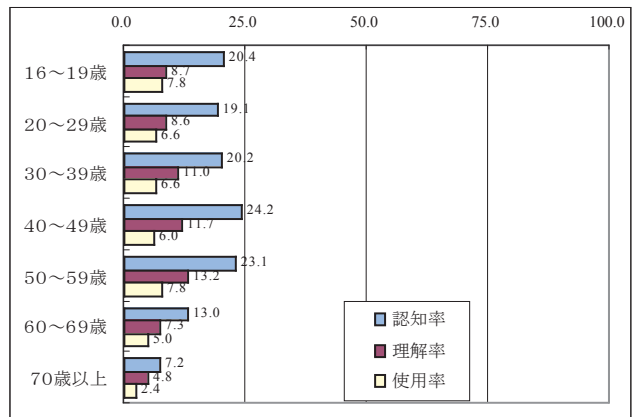


図2 定着度（年齢層別）%

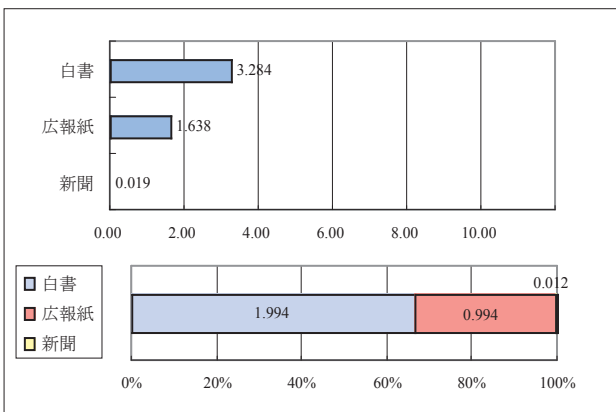


図3 公共媒体における頻度（出現率）と偏り（特化係数）

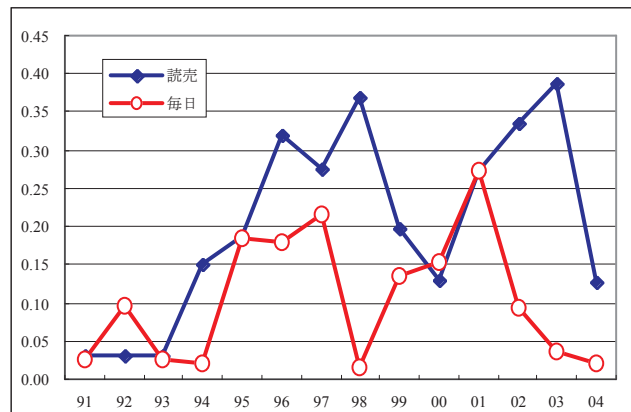


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度はやや高い。白書への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移に、全体を通じた増減の傾向はない。定着に至らない段階で不安定な使用状況にある。

【言い換えの論点】

- 比喩的な用法で使われている語であるが、その比喩を生かして「種」と言い換えるのが分かりやすいという意見と、指しているものを具体的に示して「新技術」と言い換えるのが分かりやすいという意見に分かれた。種が将来大きな実を結ぶことにたとえて表すところに、この語を使う意図があると考え、前者の意見を採用した。何を指すか分かりにくい場合は、「技術の種」のように限定を加えた表現を用いる工夫も示した。
- 「ニーズ」と一組になって語形を対応させて使われているので、「シーズ」の方だけ言い換えるのは現実的ではない、という意見が強かった。その場合は「シーズ」に説明を付ける工夫を提案することとした。

65. シェア share

「外来語」言い換え提案（第1回）

	全体	60歳以上
シェア	★★★★☆	★★★☆☆
言い換え語	(1) 占有率	(2) 分かち合う 分け合う
用例	<p>(1) 発泡酒・ビールの合計消費量のうち発泡酒のシェアは3割程度とみられる。 <small>占有率</small></p> <p>(2) 生きることの喜び、音楽の喜びをシェアしてもらいに、何度でも通いたいと思っている。 <small>分かち合っ</small></p> <p>保育園の送迎など子育てのしんどい部分もきちんと妻とシェアしてきた生活者としての言葉が、 <small>分け合っ</small> なにより説得力を持つからだ。</p>	
意味説明	<p>(1) 商品の市場全体に占める割合</p> <p>(2) 一つのものを分かち合い共有すること。また、一つのものを何人かで分けること。</p>	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・(1) では、文脈や場面によっては「市場占有率」と言い換えた方が分かりやすい場合もある。 ・(2) では、一つのものを、複数で共有する場合には「分かち合う」、分担や分配をする場合には「分け合う」と、言い換え語を使い分けるとよい。また、文脈や場面に応じて、「共有する」「分担する」「分配する」などを用いることも考えられる。 ・(2) は、名詞として用いられる場合もあり、「分かち合い」「分け合うこと」などと言い換えられる。 ・定着に向かっている語だと思われ、「シェア」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。 	
その他の言い換え語例	(1) 市場占有率	(2) 共有する 分担する 分配する
複合語例	<p>(1) トップシェア = 市場占有率第一位</p> <p>(2) ワークシェアリング = 仕事の分かち合い</p>	

【調査データ】

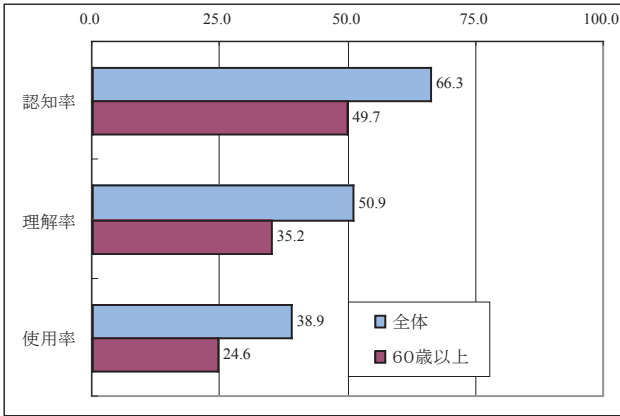


図1 定着度（全体・60歳以上）%

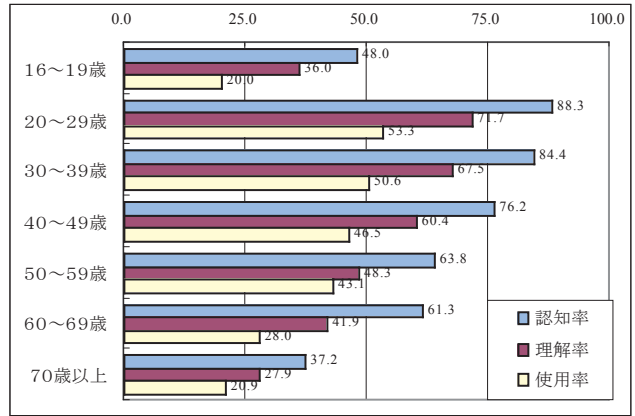


図2 定着度（年齢層別）%

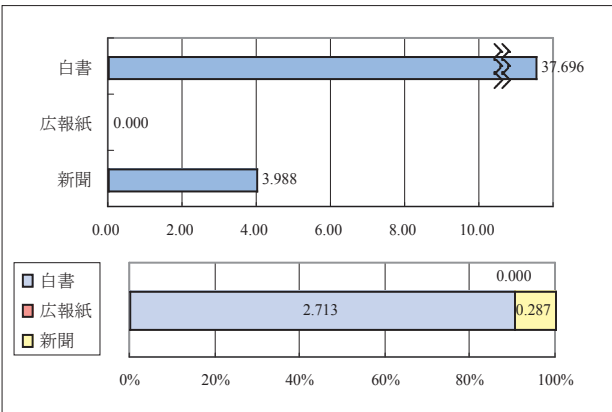


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

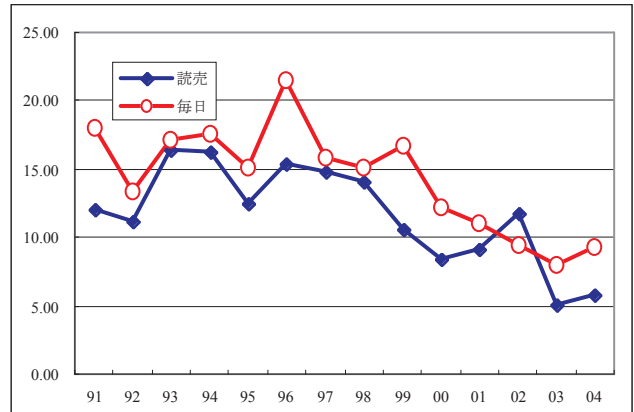


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は中程度だがどちらかといえば高い。
- 公共媒体における頻度はきわめて高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度推移は、全体を通してほぼ横ばいであるが、2000年代になって、やや減少の方向にある。

【言い換えの論点】

- 語義（1）は定着が進んでいて言い換える必要性は高くないという意見もあったが、「占有率」と言い換えることで意味は明確になるので、言い換える効果はあると考えた。語義（2）は、安易に使われがちだが、文脈に応じた既存の日本語で言い表せる意味であるはずで、外来語を使う必要性は低いと考えた。

66. シフト shift

「外来語」言い換え提案（第1回）

シフト	全体 ★★★★★	60歳以上 ★★☆☆☆
言い換え語	移行	
用例	効率性、生産性の低い部門から高い部門への産業の <u>移行</u> シフトが不可欠で、	
意味説明	位置や配置がそれまでと変わること	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈によっては、「切り替え」「転換」などの言い換え語が適切になる場合もある。 ・動詞として使われることも多いが、その場合は、「移行する」「切り替える」「転換する」などと言い換えられる。 ・定着に向かっている語だと思われ、「シフト」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。 ・自動車などの「シフトレバー」、野球の「バントシフト」、職場での「勤務シフト」などの複合語も、かなり定着していると思われるが、その分野に縁の遠い人のために、「切り替えレバー」「バント守備体制」「勤務表」などと言い換えたり、説明を付与したりすることが望まれる場合もある。 	
その他の言い換え語例	切り替え 転換	

【調査データ】

- 定着度は中程度だがどちらかといえば高い。年齢層による差異が大きい。
- 公共媒体における頻度は高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度推移は、1990年代前半に増加するが、その後は減少の方向にある。

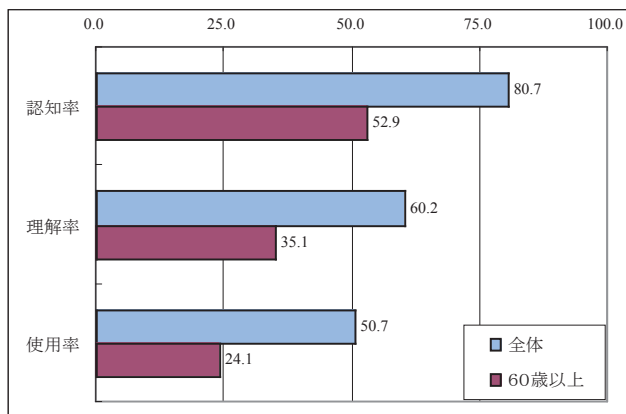


図1 定着度（全体・60歳以上）%

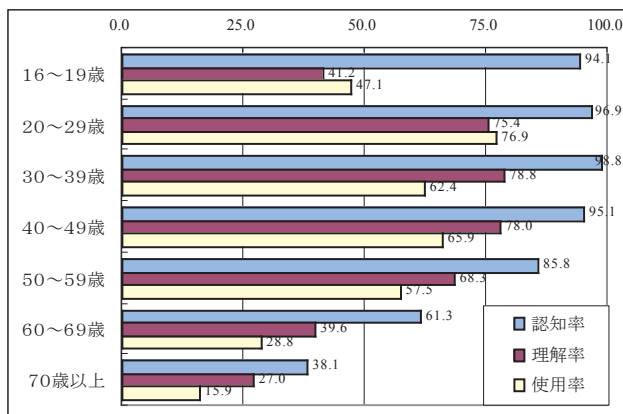


図2 定着度（年齢層別）%

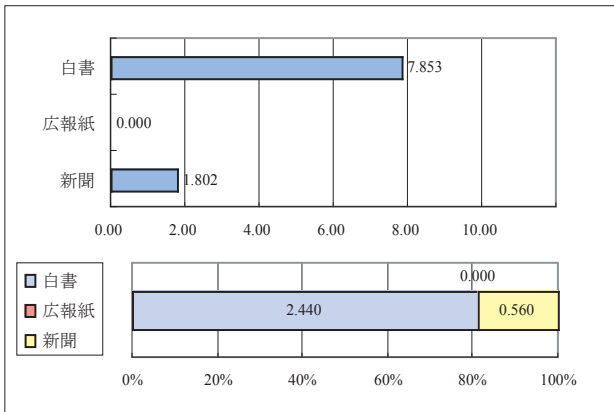


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)



図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

【言い換えの論点】

○ある程度定着が進み、幅広い文脈で使われている語であるので、外来語のままでよい、とする意見と、使い勝手がよいためによく使われているものの、使わなくても済む場合も多いので、言い換えることを推奨すべきだという意見とがあった。前者の意見に留意しつつも、後者の意見の立場で提案を行った。

67. シミュレーション simulation

「外来語」言い換え提案 (第2回)

全体 60歳以上
シミュレーション ★★★★★ ★★★★★

言い換え語 模擬実験

用例 洪水災害は昨年9月の東海豪雨と庄内川のはんらんを想定したシミュレーションをもとに算出される最大被害を基準にすることを決めた。

意味説明 計算や模擬装置などにより、起こり得る状況を様々に想定して行う実験

手引き

- ・計算や模擬装置を用いることに着目して「模擬実験」と言い換えるのが分かりやすいが、文脈によっては、状況を想定することに着目して「想定実験」と言い換える方が分かりやすい場合もある。
- ・指し示す内容が実験とは言いにくい場合は、「模擬行動」「模擬訓練」など、「模擬○○」「想定○○」の、「○○」の部分を工夫して言い換えるとよい。
- ・動詞用法で、「模擬実験する」「想定実験する」などの四字熟語が使いにくいと思われる場合は、「模擬実験を行う」「想定実験を行う」「模擬的に実験する」「想定して実験する」などの言い方にするのもよい。
- ・定着に向かっている語だと思われ、「シミュレーション」をそのまま用いることにさほど問題のない場面も多いと思われる。特にコンピューターを使った計算による実験を指して用いられる場合は、「シミュレーション」を用い、分かりにくい向きに対しては、説明を付ける方法も考えられる。
- ・ただし、60歳以上では半数以上が分からない語であり、言い換えや説明付与が望まれる場合も多い。

その他の言い換え語例 想定実験 模擬行動 模擬訓練

複合語例 シミュレーション実験 = 模擬実験 想定実験

【調査データ】

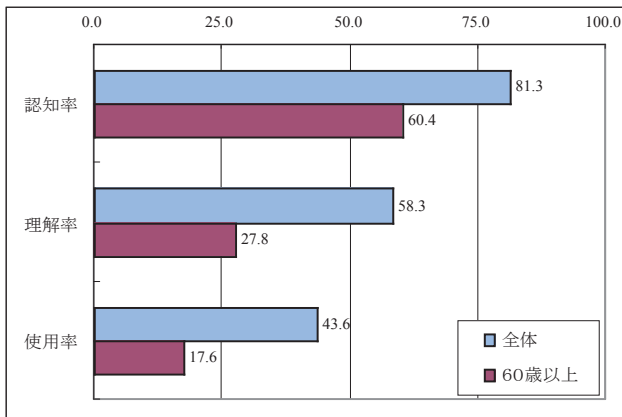


図1 定着度（全体・60歳以上）%

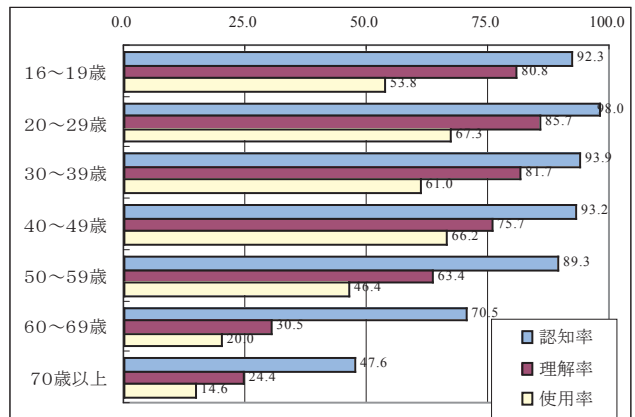


図2 定着度（年齢層別）%

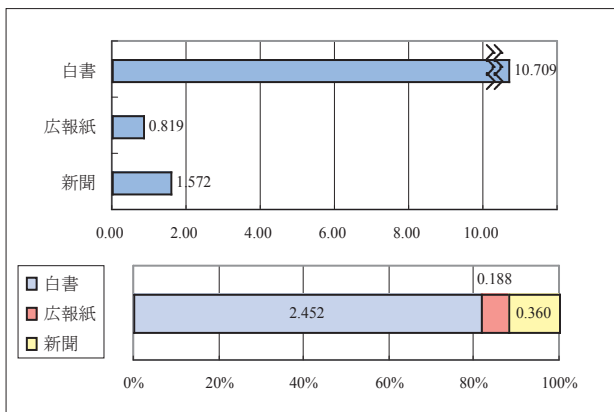


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

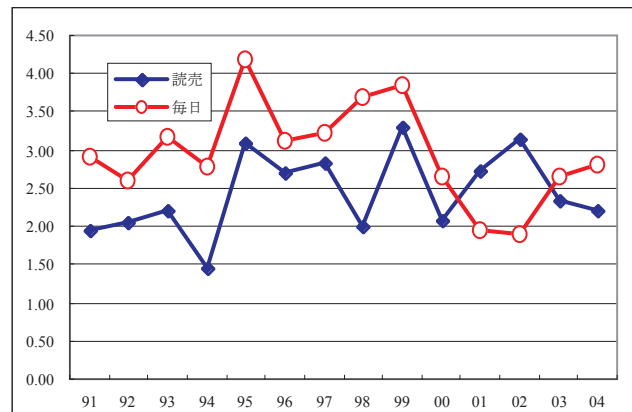


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

- 定着度は中程度だがどちらかといえば高い。年齢層による差異が大きい。60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度は高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度推移は、全体を通してほぼ横ばいである。

【言い換えの論点】

- 言い換え語は「模擬実験」が定着しており意味も分かりやすい。また「想定」の語を用いることでより分かりやすくなる文脈もあるので、「想定実験」も[その他の言い換え語例]に示した。実験よりも行動や訓練と意識される場面に使われることもあるので、「模擬行動」「模擬訓練」などの語も示した。
- コンピューターを用いる場合は、外来語のまま用いることが定着しつつあるので、その場合は、言い換えよりも説明付与を推奨する方が現実的だと考え、[手引き]にその旨を記した。

68. シンクタンク think tank

「外来語」言い換え提案（第1回）

シンクタンク	全体 ★★☆☆	60歳以上 ★★☆☆
言い換え語	政策研究機関	
用例	政策研究機関 イスラエルで最も権威のあるシンクタンク、テルアビブ大学ジャッファ戦略研究所が、政府はPLOと対話すべきだと提言した。	
意味説明	社会問題の調査分析と、解決のための政策等の提言を行う研究機関	
手引き	・政策に直接かかわらない調査研究を行う機関の場合は、単に「調査研究機関」などと言い換えることもできる。	
その他の言い換え語例	調査研究機関	

【調査データ】

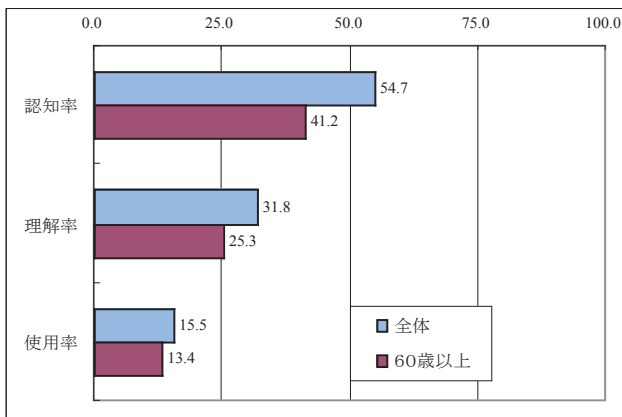


図1 定着度（全体・60歳以上）%

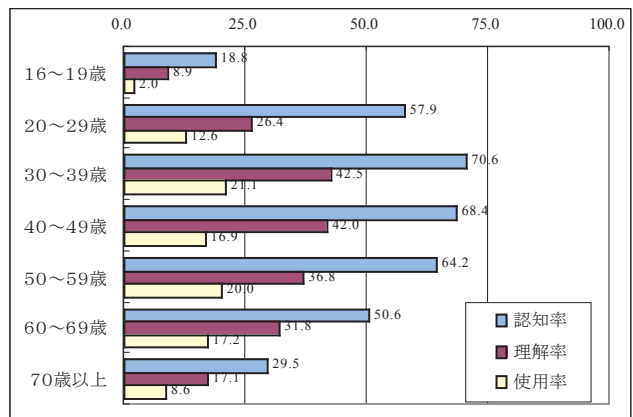


図2 定着度（年齢層別）%

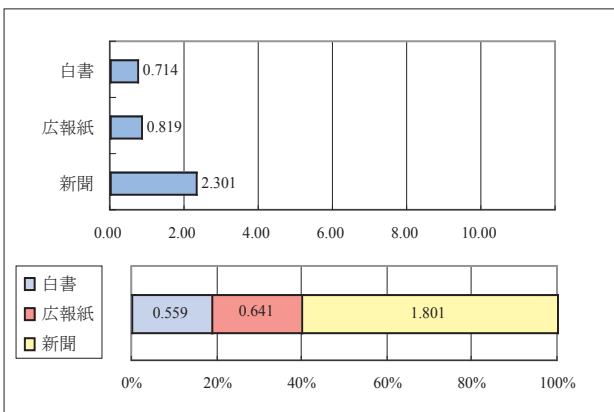


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

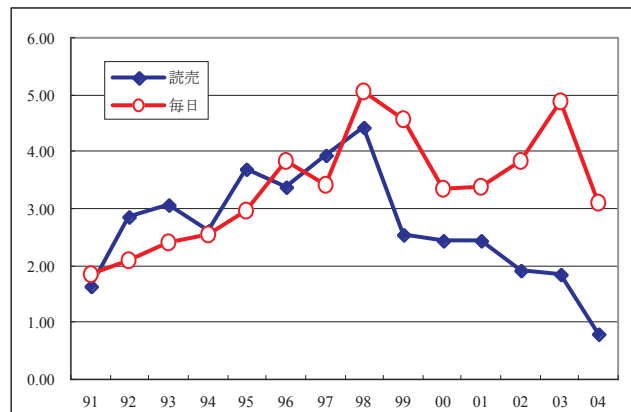


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

- 定着度はやや低い。理解率と使用率の乖離が大きい。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。新聞への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度推移は、1998年頃までは増加傾向にあるが、その後は横ばいもしくは減少傾向にある。

【言い換えの論点】

- 「頭脳集団」という言い換え語が使われることもあるが、「シンクタンク」の果たす機能を表す「調査機関」「研究機関」などの語を用いる方が分かりやすいという意見が強かった。
- 単なる調査研究よりも、政策につながる調査研究を行う性質をもつ機関を「シンクタンク」と呼ぶことが多いので、「政策研究機関」を、言い換え語とするのが最適だと考えた。機関の性質によっては「調査研究機関」と呼ぶ方が適切な場合があることを、[手引き]に記した。

69. スキーム scheme

「外来語」言い換え提案（第1回）

	全体	60歳以上
スキーム	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	計画	
用例	三事業を維持していくうえでの問題点と完全民営化に向けた具体的な 計画 について検討する。	
意味説明	体系だった公的な計画	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本計画」と言い換えられる「マスタープラン」[⇒141]に対して、「スキーム」は、体系立てられた枠組みとしての計画を指し、文脈によっては「枠組み」と言い換える方が分かりやすい場合もある。 ・1990年代半ばごろから役所が策定して発表する計画の呼び名によく使われるが、一般には分かりにくく、言い換えや説明付与の必要性は高い。 	
その他の言い換え語例	枠組み	

【調査データ】

- 定着度はきわめて低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、1995年に急増し、1999年から急減する。その後は低頻度で横ばいである。

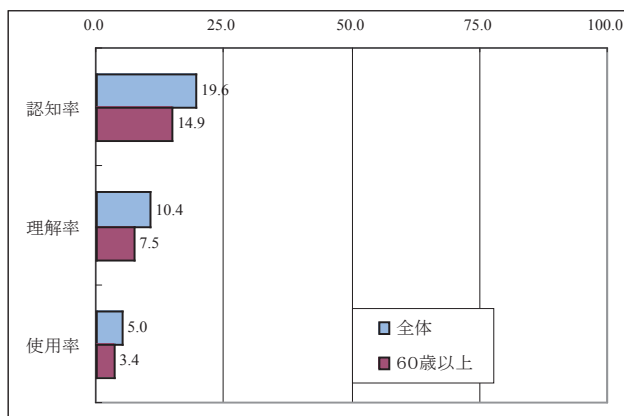


図1 定着度（全体・60歳以上）%

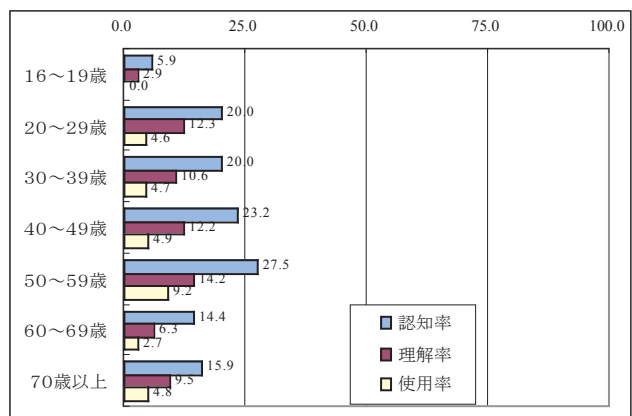


図2 定着度（年齢層別）%

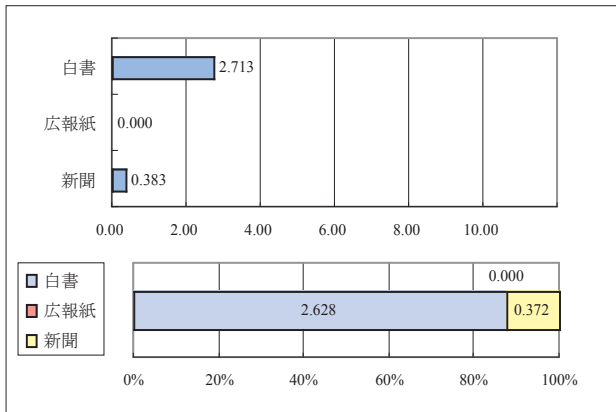


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

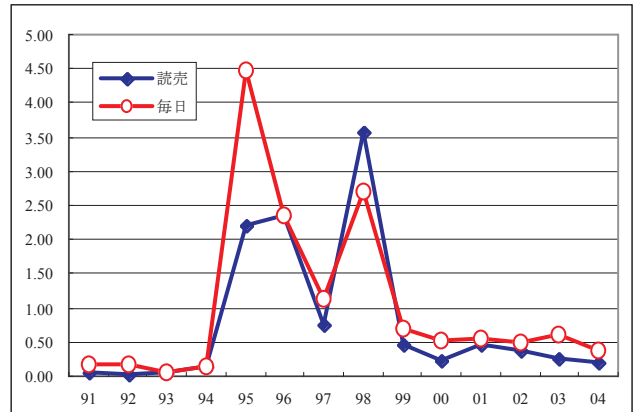


図4 新聞14年間の頻度推移(出現率)

【背景事情】

○役所が策定して発表する計画や枠組みを指す語として、役所が使っていた。新聞の頻度が1995年に急増するのは、住専処理の金融政策の枠組みを、国が「住専処理のスキーム」と呼び、これが繰り返し報道されたことによるものである。その後も、金融政策を中心に、様々な計画や枠組みを「スキーム」と呼ぶ流れが続いたが、1999年頃から、次第に少なくなってきた。

【言い換えの論点】

○言い換え語は「枠組み」が分かりやすいという意見と、「枠組み」は「フレーム」「フレームワーク」の言い換え語と紛れやすいので、「計画」「基本計画」の方がよいという意見とがあった。やはり役所がよく使う類義語「マスタープラン」が「基本計画」と言い換えられるので、それとの対応が分かる「計画」を、言い換え語として提示する方が分かりやすいと考えた。ただし、「枠組み」の言い換え語の方が適合する用例も多いので、[手引き]と[その他の言い換え語例]でこの点に言及した。

→参照 アクションプログラム, アジェンダ, グランドデザイン, フレームワーク, マスタープラン

70. スキル skill

「外来語」言い換え提案(第3回)

スキル	全体 ★★☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	技能	
用例	職業に関する実践的な <u>技能</u> や職業適性などの情報への要望が強い。	
意味説明	訓練によって身につけることができる、技術上の能力	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 文脈によっては、「技術」「能力」などの言い換え語が適切になる場合もある。 訓練によって身につける技能であることを強調したい場合は、「習得技能」と言い換えることもできる。 	
その他の言い換え語例	技術 能力 習得技能	
複合語例	スキルアップ = 技能向上	

【調査データ】

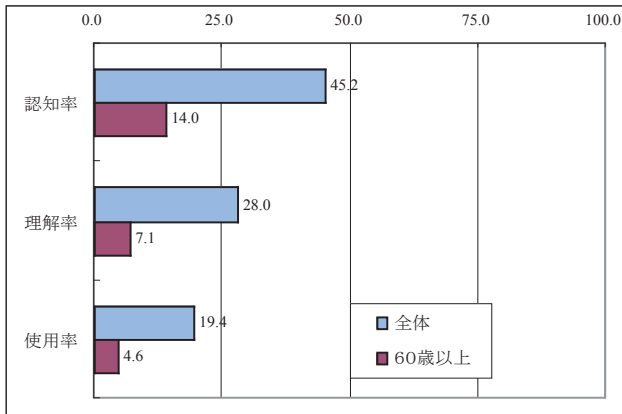


図1 定着度（全体・60歳以上）%

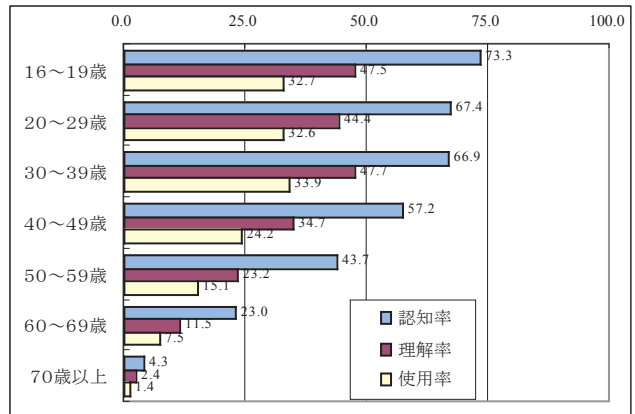


図2 定着度（年齢層別）%

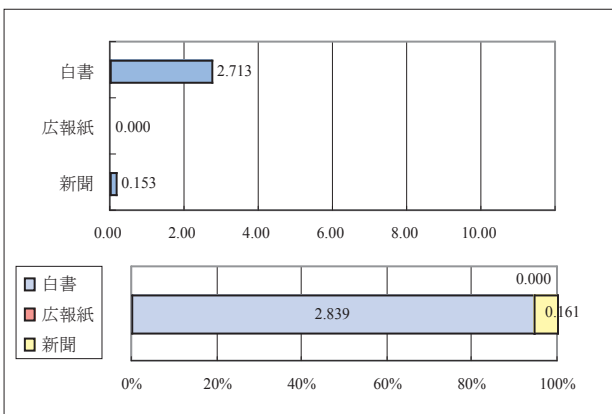


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

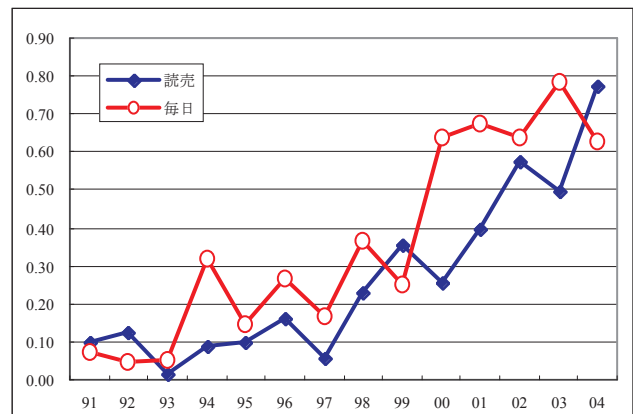


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度はやや低い。30歳代が高く、60歳代が特に低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。白書への偏在度がきわめて高い。
- 新聞の頻度推移は、全体として増加の方向にある。

【言い換えの論点】

- 十分に定着しているのので、言い換える必要はないという意見が、外部から多く寄せられた。確かに、学校や企業などではずいぶん普及が進んできていると考えられる。しかし、「定着度調査」の結果は、いまだ低い段階にとどまっており、この語の普及している範囲は現状では広くないと考えられる。公共的な場面では、言い換えなどの対応が必要である。

71. スクーリング schooling

「外来語」言い換え提案（第2回）

スクーリング	全体 ★★☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	登校授業	
用例	基本は経済企画庁の発行するテキストを使つての自宅学習。12月までの3か月間に <u>スクーリング</u> のほか、レポートの提出などを行う。	
意味説明	通信教育課程で、一定期間義務付けられた、登校による授業	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> 通信教育であることが不明な文脈では、「(通信教育における)登校授業」などのように、説明を補う方が分かりやすい。 学校に登校するものでなく、実地に出向いて教育を受ける形のものの場合、「実地教育」と言い換えられる。 複合語「ホームスクーリング」は、学校に行かないで自宅で教育を受けること。 	
その他の言い換え語例	面接授業 実地教育	
複合語例	ホームスクーリング = 在宅教育	

【調査データ】

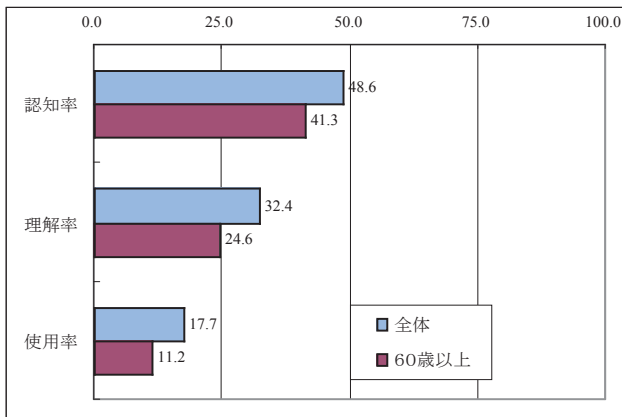


図1 定着度（全体・60歳以上）%

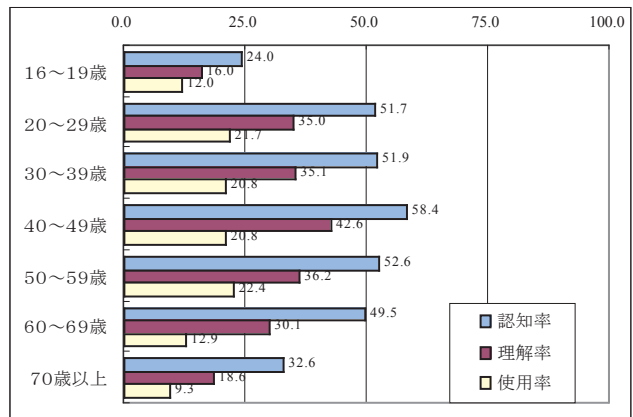


図2 定着度（年齢層別）%

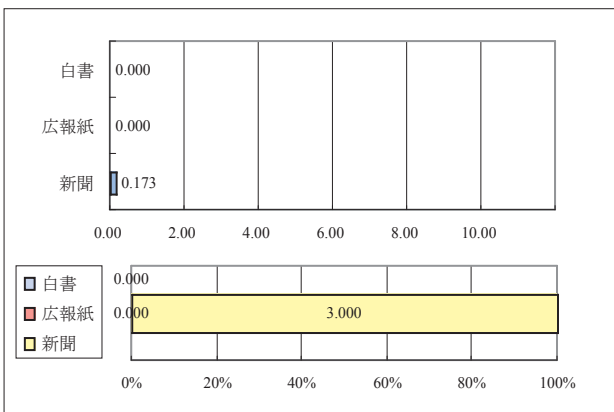


図3 公共媒体における頻度（出現率）と偏り（特化係数）

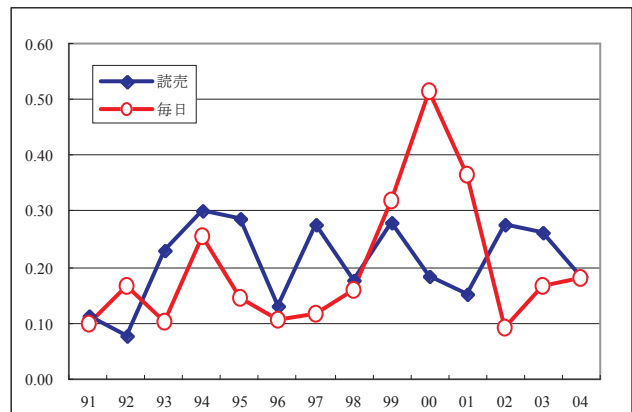


図4 新聞14年間の頻度推移（出現率）

- 定着度はやや低い。年齢層による定着度の差異はあまりない。
- 公共媒体における頻度は低い。新聞への偏在度が高い。
- 新聞の頻度推移に、全体を通じた増減の傾向はない。

【言い換えの論点】

- どんな言い換え語を用いても、通信教育における授業という意味が伝えにくい。文脈によっては「通信教育における」というような説明を補う必要があると考えられるので、その点を「手引き」に示した。

72. スクリーニング screening

「外来語」言い換え提案（第1回）

スクリーニング	全体 ★☆☆☆	60歳以上 ★☆☆☆
言い換え語	ふるい分け	
用例	精度の高い検査法で血液をふるい分けスクリーニングしていたら防げた。	
意味説明	ふるいにかけて条件に合うものを選び出すこと	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学的・化学的な検査・実験による場合のほか、人の適性或能力を審査する場合にも用いられる。前者の場合は「選別」「選別検査」、後者の場合は「選抜」と言い換えるのも分かりやすい。 ・ 類義の外来語「フィルタリング」（選別、より分け）[⇒121]が、必要なものと不要なものをより分けることを意味するのに対して、「スクリーニング」は、条件に合うものを選び出すことを意味する。 	
その他の言い換え語例	選別 選別検査 選抜	

【調査データ】

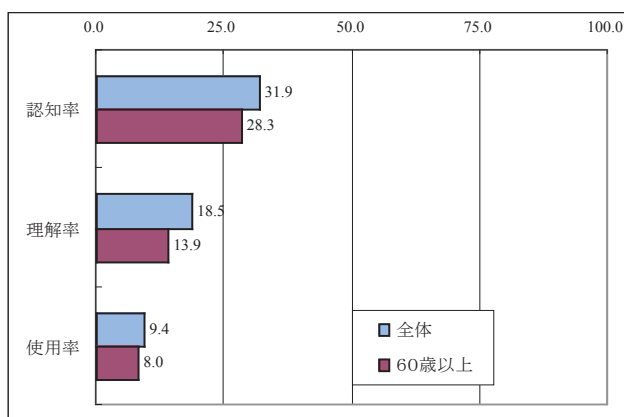


図1 定着度（全体・60歳以上）%

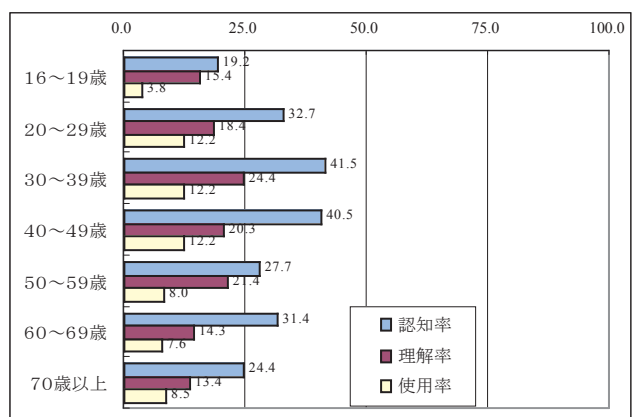


図2 定着度（年齢層別）%

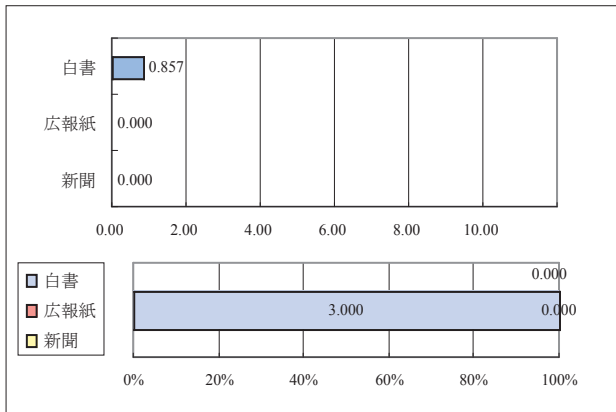


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

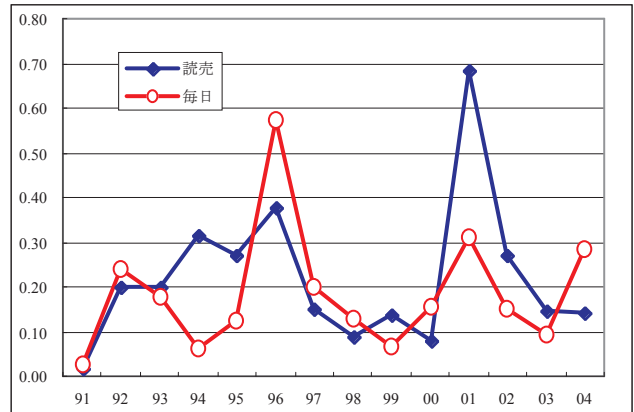


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度はやや低い。白書への偏在度が高い。
- 新聞の頻度は、1996年と2001年が突出する。1996年は薬害エイズの報道が多かった年、2001年はBSE（牛海綿状脳症）の報道が多かった年である。エイズやBSEにかかわる検査を行う文脈で「スクリーニング」が使われた。これら以外の年は、低頻度で増減の方向は見られない。

【言い換えの論点】

- 類義語「フィルタリング」との意味の違いを考えることで、より適切な言い換え語を定めることができる。この点を「手引き」に記した。

→参照 フィルタリング

73. スケールメリット 和製語

「外来語」言い換え提案（第1回）

	全体	60歳以上
スケールメリット	★☆☆☆	★☆☆☆
言い換え語	規模効果	
用例	中堅規模の会社も百社程度がネットで結集すれば、一兆円企業と同じスケールメリットが追求でき、大手にも対抗できる。	
意味説明	規模を大きくすることで得られる効果	
手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や企業などの合併や連携、大規模施設の建設などに関して、役所や産業界で使われることが多い。これらの分野では「規模の利益」という言い換え語が定着しているが、一般にはやや分かりにくい。 ・和製語 	
その他の言い換え語例	規模の利益 規模利益 規模拡大効果	

【調査データ】

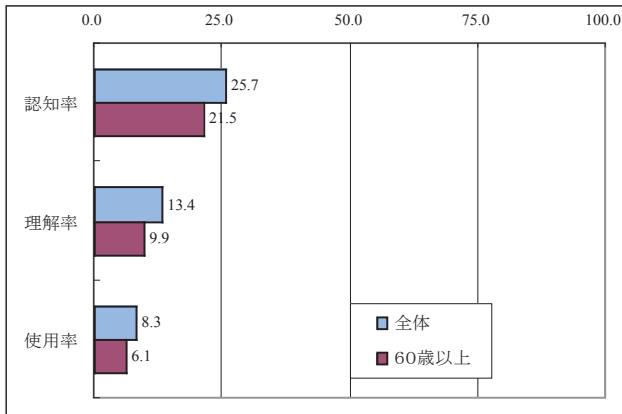


図1 定着度（全体・60歳以上）%

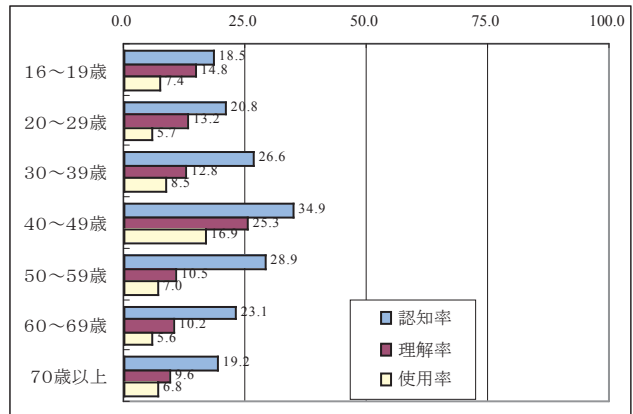


図2 定着度（年齢層別）%

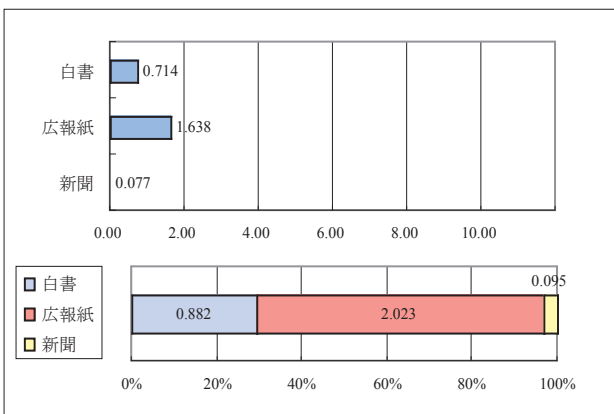


図3 公共媒体における頻度(出現率)と偏り(特化係数)

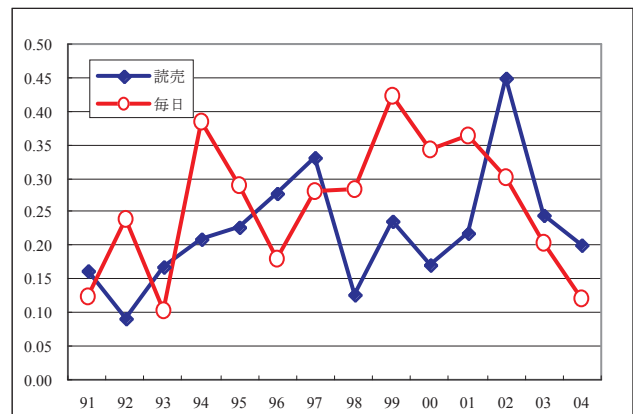


図4 新聞14年間の頻度推移 (出現率)

- 定着度は低い。
- 公共媒体における頻度は中程度だがどちらかといえば高い。広報紙への偏在度がやや高い。
- 新聞の頻度は、2002年頃までは全体を通して増加の方向にあると見られるが、その後は減少の方向にある。

【背景事情】

- 1990年代半ば以降の頻度の増加の背景には、企業活動の規模の大きさがもたらす効果が話題になる機会が増加したことによるものと考えられる。2000年以後には、自治体の合併をめぐる話題でもよく使われるようになった。

【言い換えの論点】

- 経済の専門分野では、「規模の利益」「規模の経済」「規模の効果」などという「の」を介する言い換え語が定着しているので、これを使うのがよいとする意見と、「の」の用法が分かりにくさを生んでいるという意見とがあった。単語として使いやすくなる「規模効果」を、言い換え語とした。